

會議

出席委員左ノ如シ

委員長 元田 肇君

骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
清涼飲料稅法案(政府提出)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
地方稅ニ關スル法律案(政府提出)
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)
市町村稅地租法案(山本悌二郎君外十三名提出)
市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案(山本悌二郎君外十三名提出)
○元田委員長 是ヨリ所得稅法中改正法律案外二十七件ノ委員會ノ續會ヲ開キマス
○田中委員 本委員會ノ開會ハ本日ヲ以テ丁度五回デアリマス、此間質問ノ終了致シマシタ者ハ、漸ク五名ニ過ギナイト云フヤウナ狀態デアリマス、尙

大正九年法律第五十一號中改正法律案（朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件）（政府提出）
地方稅ニ關スル法律案（政府提出）
明治四十四年法律第三十七號中改正法律案（地方稅制限ニ關スル件）（政府提出）
市町村稅地租法案（山本悌二郎君外十三名提出）
市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案（山本悌二郎君外十三名提出）
地租條例中改正法律案（末次竹二郎君外二十三名提出）
所得稅法中改正法律案（末次竹二郎君外二十三名提出）
大正九年法律第十二號中改正法律案（所得稅法ノ施行ニ關スル件）（末次竹二郎君外十三名提出）
明治四十二年法律第七號廢止法律案（國貨ノ利子所得稅免除ニ關スル件）（末次竹二郎君外二十三名提出）
市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案（末次竹二郎君外二十三名提出）

委員會議錄
(速記) 第七回

ホ多數ノ通告者ヲ餘シテ居リマス、若シ今日迄ノ狀勢ヲ以テ推移致シマシタナラバ、是等多數ノ通告者ガ質問ヲ終了シマスコトハ、至難ノ事ト謂ハナケレバナラヌト考ヘル、前回ノ委員會ニ於テ委員長カラ御警告ガアッタ如ク、今後質問ヲセラレル方ハ、成タケ簡潔ニ所謂質問道德ヲ重ンゼラレテ、多數ノ通告者ガ十分ノ質疑ヲ致スヤウニ御配慮ヲ御願ヒ致シタイト同時ニ、質問ハ質問トシテ、成タケ議論ヲ御避ケニナランコトヲ希望致シマス、委員長ニ於カレテハ、委員會開會以來頗ル公正且ツ又審議ノ進行ニ當ッテ、格段ノ御留意下サイマスコトハ、萬々私共ハ承知致シテ居リマスガ、何卒今後如上ノ風ニ依テ審議ヲ進メラレンコトヲ希望致シマス

○元田委員長 只今ノハ委員長ニ對スル御注意ト受取リマシタ、委員長ハ精精議事ノ運バヤウ、而シテ極メテ公平ニ諸君ノ御満足ヲ達セシコトヲ目的トシテ實ハヤッテ居ルノデアリマス、ドウモ私共ガ委員ニナッテ質問ヲスル場合ニ、單純ナル質問ダケニ止メルト云フコトヲ心掛ケテ居ッテモ、ツイ理窟ヲ言ッテ見タクナルコトハ、モウ御互ニ質問者トナルト免レヌ事ニナル、他人ノ事ハ言ッテモ、自分モソレニ陷ルコトハ隨分ゴザイマスノデ、成ベク議論ヲ避ケテ、簡潔ニ質問シテ頂キタイコトヲ希ッテ居ルノデアリマスガ、私ハモ少シ進行シマシタナラバ、通告者ハゴザイマスケレドモ、段々前ノ人ガ質問サレ

タコトデ諒解サレテ、重複ニ互ルヤウナ點モアリマスノデ、數ノ割合ニハ行クマイト思ヒマス、若シサウ云フ譯ニ行カナイト云フコトデアラナラバ、何レニナレ適當ノ時日ノ間ニ決定ヲ着ケルコトニシナケレバ、委員長ノ職務ハ立タヌヤウナ譯デアリマスカラ、理事諸君トモ能ク御諮リヲ致シマシテ、成ベク完全ナル進行及議事ノ徹底サレルヤウナ方法ヲ講ジタイト思ッテ居リマス、御注意ガゴザイマシタカラ、一寸此事ダケヲ申上ゲテ置キマス

○岩崎委員 議事進行ニ付テ私一寸希望ガアリマス、過日來ノ質問應答ヲ承ッテ居リマスルニ、如何ニモ田中君ガ今御話ニナリマシタヤウニ、質問者ノ方ニモ隨分冗長ニ互ッテ居ル議論モアリマセウケレドモ、質問者ニ對スル政府委員ノ御答辯モ、隨分冗長ナモノガ多イト云フコトヲ私ハ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、斯ウ云フ狀勢デアリマスナラバ、田中君ノ御憂慮ニナリマスヤウナ事柄ハ尤モデアラウト思ヒマス、ドウカ質問者ニ田中君ノ御希望ノ事ヲ御含ミヲ願フト同時ニ、又政府委員、國務大臣ニ於カセラレテモ、能ク質問者ノ質問セント欲スル所ヲ捕捉サレテ、而シテ簡單明快ナル御答辯アルコトガ最も必要デアラウト存ズルノデアリマス

○元田委員長 只今岩崎君カラノ御注意ガゴザイマシタガ、國務大臣及政府

委員ノ諸君ガ御答ヘ下サルノニ、餘リ御丁寧ニ互ッテ——詳細ニト申シマシタラバ、洵ニ穩當デゴザイマセウト思ヒマスガ、町寧ニ互ッテ居リマス、成ベクドウカモ少シ簡潔ニ、質問者ノ言ッタ事ニ御答下サルヤウニシタナラバ、時間モ省ケテ宜カラウト云フ御注意ガゴザイマス、何卒御含ミヲ願ッテ置キマス

——増田義一君

○増田委員 私ハ先ヅ地租條例改正案中ノ地價二百圓以下ノ全免ニ就テ御尋致シタイノデアリマス、是ハ自作農保護ノ目的デアルト云フコトハ、濱口大藏大臣カラ説明サレテ居リマスガ、ソレナラバ何故ニ自ラ耕作スル者ト云フ條件ヲ附セラレナイノデアッタラウカ(「ヒヤヒヤ」ト呼フ者アリ)地價二百圓以下ノ所有者デアッテモ、市ヤ町ニ住ンデ居ル者ハ、其地所ヲ他人ニ小作セシメ、自ラハ商業ヲ營ンデ居ッたり、或ハ俸給生活ヲシテ居ッたり、或ハ株券ヲ所有シテ相當ノ生活ヲシテ居ル者ガアル、其人マデモ全免スルノ必要ガアルモノデアラウカ、是等ノ者ニ對シテ免除スル必要ガ無イトスレバ、寧ロ免稅點ヲ今少シ引上ゲテモ、自作農ノ全免ト云フコトガ宜シクアルマイカ、ソレデ無條件全免デアルト云フコトニナルト云フト、不動産所有者ノ最低免稅點ヲ定メタト云フコトニナッテシマフノデアリマス、サウ云フ御趣意デハナカラウト思ヒマス、サウスレバソコニ此缺陷ガ

アリハシマイカ、何故自作農ト云フ條件ヲ附セラレナカッタト云フコトヲ御尋シタイ

○濱口國務大臣 地租ニ免稅點ヲ設ケテアリマス、其趣旨ハ只今増田君ガ御尋ノ通りデアリマス、小農、殊ニ小農タル自作農ノ維持創設ヲ獎勵スルニ在ルト、其通りデアリマス、是ハ立法技術上カラ來タ所ノ條文デゴザイマス、只今自作農獎勵ト云フ事ハ、是ハ經濟論デアリマス、其經濟論ノ目的ヲ立法上デ達シヤウトスルノニハ、ドウスルノガ最も便利デアラウカ、又實行のデアルト云フコトヲ段々考ヘマシタ結果經濟上カラ言ヘバ自作農ノ創定保護デアリマスガ、自作農ト云フコトヲ明文ニ書キマスコトハ、其實行ニ當ッテ色不便ノ事ガアルト云フ考カラ致シマシテ、實行ノ爲シ易イヤウニ、而シテ法律ノ書キ方ハ成ベク簡明デ濟ムヤウニ、二百圓未滿ト云フコトニシタノデアリマス、其結果トシテ、只今御話ノ通り自作農以外ノ者ニシテ、二百圓未滿ナルガ故ニ、免稅ノ恩典ヲ受クル者モ多少出テ來ヤウト思ヒマス、併シ大體ニ於テサウ云フ事ハ無イノデアッテ、極メテ例外ノ場合ニサウ云フ結果ヲ生ズルノデアラウト思ヒマス、其例外ノ場合ハ、何レノ規定ニ於テモ免カレヌ事デアリマス、斯ウ云フ法律ヲ作ル上ニ於テハ、大體其邊デ滿足スルト云フ外ハアルマイカト云フ考カラ、機械的ノ

區別デアリマスケレドモ、地價二百圓未滿、而カモソレハ隣接シタル町村ニ於ケル田畑ノ地價合計ト、斯ウ云フコトニ限ッテ此原案ヲ作ッタノデアリマス、趣意ニ至ッテハ小農、殊ニ自作農タル小農ニ在ルト云フコトハ間違ヒゴザイマセヌ

○増田委員 分リマシタガ、私ハ法文解釋ノ上ニ於テモ、立法技術ノ上ニ於テモ、ソレハ困難ナ問題デハナカラウト思ヒマス、地方ニ於テ土地ヲ持テ居ル人デアリマシテ、自ラ耕作シテ居ルカ居ラヌカト云フコトハ、實際ニ於テモ直チニ分ル、又法文ノ方デモ「二百圓以下ノ所有者ニシテ自ラ家族ト共ニ耕作スル者ハ之ヲ免除ス」ト、斯ウ云フヤウニ致シマスレバ、何等差支ハ無イト思ヒマス、私ハ此二百圓ト云フモノハ、モット引上ゲテモ左様ニシタイト思ッテ居リマスガ、ソレニ就テ只今御答辯ハナクテモ宜シイ、直チニ第二ノ質問ニ移リマス、清涼飲料稅ニ付テ御尋致シマス、今回ノ稅制整理ハ、國民負擔ノ均衡ト、社會政策ヲモ包含スルト云フコトハ、屢大藏大臣ガ明言サレテ居ル所デアリマス、所ガ此清涼飲料稅ハ、果シテ社會政策ニ適ッテ居ルカ、却テ社會政策ノ御趣意ニハ反對デアリハシマイカ、ト申スノハ此清涼飲料ト云フモノハ「ラムネ」デアル、其次ハ「サイダ」デアル、「ラムネ」ハ中流以下ノ職工、勞働者、女、子供、斯ウ云フ者ガ一番多ク飲

用シテ居ル、今日デハ實ニ民衆的飲料トナッテ居ルト云フコトハ御認メデアラウト思フ、然ルニ其「ラムネ」「石ニ付テ七圓」「サイダ」「石ニ付テ十圓」、斯ウ云フ稅ヲ課スルコトハ、社會政策ノ御趣意ニ反スルモノデハナカラウカト思フガ、大藏大臣ハ何ト御考ニナルカ、又他方ニ於テ、此清涼飲料ノ香ヤ味付ノ原料ニ對シテ、今度ノ關稅定率ニ於テ倍以上ノ増稅ヲヤルト云フコトノ御提案ニナッテ居リマス、此點ニ於テモ既ニ原料増稅ト云フコトヲナサレテ居ル、嗜好品トハ言ヒマスモノ、水ニマデ課稅スルト云フヤウナ感ヲ與ヘ

ルノハ、國民ノ心理狀態ニ惡イ影響ヲ與ヘハシナイデアラウカ、麥酒ノ稅源涵養ノ目的デ課稅スルト仰シヤルケレドモ、麥酒ト「ラムネ」デハ、マルデ飲ム人ノ上戸ト下戸トノ相違ガアル、何モ「ラムネ」「サイダ」ニ課稅シナクテモ、麥酒ハ麥酒デ獨立シタモノデアアルニ相違ナイ、且又「ラムネ」ノ方ハ極メテ簡單ニ製造出來ルモノデアッテ、全國各地到ル處デ製造販賣シテ居ル、之ヲ取締ルト云フコトニ付テハ、頗ル困難デアラウ、尤モ申告稅トナッテ居リマシテ、申告稅ハ正直ノ者ガ重キ負擔ヲシ、不正直ノ者ガ輕イ負擔ヲスルト云フコトニナッテ、茲ニ非常ナル弊害ガアル、此取締ノ上ニ於テ尠カラザル手數ト費用ガ掛ル、サウシテ收入ハドノ位カト云フト、僅カ三百萬圓カ四

百萬圓ニ過ギナイ、過日三士君ガ此委員會ノ席上デ、政府ガ行政財政ノ整理ヲセラレルト云フノニ、冗費ノ節約ヲシナカッタ、嘗テ政務官デアッタ人、自ラ之ヲ告白サレテ居ルノデアアル、今日ノ大ナル豫算ノ中デ、政府ガ本氣ニナッテ節約ヲ斷行セラレヤウトスレバ、三百萬ヤ四百萬ガ擯出セナイト云フコトハナイ等デアアル、況シテ國庫剩餘金ニ付テ、先日大口君カラ詳細ノ御意見ガアリマシテ、私全然同感デアッタガ、決シテ是ハ大藏大臣ヲ責メルノデハナク、歷代ノ内閣ガ豫算ノ上ニ於テモウ少シ實地ニ近イ事ヲスレバ、出來ナイ事デナイノデアリマス、私ハ敢テ英國ノ例ヲ引クノデアアリマセヌガ、世界

中英國ノ豫算ホド豫算ト實行シタ所ノモノトノ差額ノ少ナイモノハナイ、我國ノ如ク國庫ノ剩餘金ガ二億モ三億モ殆ド四億ニ近イモノガ出ルト云フコトハ、一面ニ國勢ノ發展ト云フ事モアリマセウケレドモ、私ハ思フニ今迄ノ大藏省ノ屬僚ノ諸君ガ豫算ヲ作ルノニ、即チ歲入豫算ヲ少ク見積リテ、各省カラ要求サレル歲出豫算ヲ餘計ニ見積ラレテ、歲入ヲ内輪ニシテ歲出ヲ餘分ニ見積ラアル豫算デアアルカラ、何時デモ剩餘金ガ出ル、左様ナ剩餘金ガアルノヲ少シ手加減ヲ爲サレバ、三四百萬圓位ハ——殆ド水ト云ッテモ宜イ物ニ向ッテ飲料稅マデモ起サナクテモ宜シイデハナイカ、甚ダ私ハ是ハ見ヤウニ依テハ

不信任ノ稅デアアル、惡稅トモ見ラレハシナイカト思フノデアリマス、左様ナ點カラ考ヘマシテ、是ハ不穩當ナル稅デハナカラウカト思ヒマスガ、ソレデモ尙ホ且ツ三四百萬圓ガ入用デ已ムヲ得ズ出シタ、是ガ社會政策ノ趣意ニ適ッテ居ルト云フ御確信ガアルカ伺ヒタイ

○濱口國務大臣 清涼飲料稅ヲ新ニ起シタト云フ事ソレ自體ガ直ニ社會政策デアルトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、増田君ノ御說ノ通り、此際新稅増稅ハ實ハ好マナカッタノデアリマス、出來ル限リ之ヲ避ケタイト考ヘマシタ、所ガ御承知ノ通り廢減稅ヲ政府ガ行ヒマスルト、ソレガ爲ニ國庫ノ收入ガ減少ヲ來スト云フコトハ、財政ノ狀況ガ之ヲ許サヌノデアリマスカラ、已ムコトヲ得ズ其財源ノ一部ヲ補填スル爲ニスルト云フノガ、清涼飲料稅創設ノ一ツノ理由ニナッテ居リマス、其金額ハ僅カ四百何十萬圓、五百萬圓ニ足ラヌ僅ナ金額デアリマスケレドモ、今日ノ財政上カラ申セバ、此四百五百萬圓ノ金ガ中ニ容易ニ出マセヌ、曩ニ財政ノ整理ヲヤリマシタ時ニ、大分努メテ行ッタ積リデアリマスガ、當時ノ事情ニ照シテ政府ハ出來得ルダケノ事ハ致シマシタケレドモ、ソレニ致シマシテモ一般會計一億五千二百萬圓シカ出ナカッタト云フ狀況デアリマシテ、更ニ此際稅制整理ニ依テ四五百萬圓ノ支出ヲ節約スルト云フコトハ、甚ダ困難ナ事情デアッタノデ

アリマス、ソコデ稅制整理ノ財源ノ一部ヲ補填スル爲ニ、此清涼飲料稅ヲ設ケタト云フノモ一ツノ理由デアリマス、今一ツハ、麥酒ニ向ッテ七圓ノ増稅ヲ致シマシタガ、麥酒ト清涼飲料トハ能ク共通のニ用ヒラレル、實際上ニ於テ代用品ニナッテ居リマスノデ、麥酒ノ増稅ヲヤッタ結果、麥酒ノ消費ガ清涼飲料ニ移リ、増稅ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ虞ガゴザイマスカラ、麥酒ノ稅源ヲ擁護スル爲ニ、清涼飲料稅ヲ設ケタト云フコトハ第二ノ理由デアリマス、而シテ清涼飲料稅其モノノ中デ、出來ルダケ社會的政策ノ意ヲ加味シタ積リデアリマス、即チ今御舉ゲニナリマシタ「ラムネ」ガ一石七圓、其他ハ十圓カラ十二三圓ニナルト思ヒマスガ「ラムネ」ハ民衆的ノ飲料デアルト云フ理由ヲ以チマシテ、普通ノ場合ヨリモ率ヲ三割以上モ下ゲテアル譯デアリマス、其點ニ付テハ増田君ノ御說ノ通り社會政策ハ相當ニ加味シテ置イタ積リデゴザイマス

○増田委員 清涼飲料稅ニ付テハ、大藏大臣ト全ク私ハ所見ヲ異ニシマスノデ、斯様ナ物ニ課稅スルノガ社會政策デナイト云フノデアリマス、七圓位ナラバソレデ差支ナイデハナイカト云フヤウナ御考デアリマスガ、是ハ意見ノ相違デスカラ其上問ヒマセヌ、次ニ御尋シタイノハ酒造稅ニ付テ、麥酒稅ノ増稅ノ割合ニ付テデアリマス、酒ノ稅

ハ申迄モナク酒精即チ「アルコール」分含量ノ度合ニ依テ増減スル、是ガ原則デアラウト思フ、ソコデ日本酒一石三十三圓ノ現行稅率製造ニ對シテ七圓ノ増加、麥酒ハ十八圓ニ對シテ同ジク七圓ノ増加デアル、是ハ不公平デハアルマイカ「アルコール」分量ハ、麥酒ノ方ハ日本酒ニ比シ遙ニ少ナイ、現行稅カラ考ヘマシテモ、三十三圓ノモノニ對シテ七圓ノ増稅ヲスルナラバ麥酒ノ十八圓ニ對シテハ三圓八十錢ト云フナラバ同ジ率ニナル、所ガ日本酒ニ對シテ二割強ノ増稅ガ、麥酒ニ對シテ約四割ノ増稅ハ甚ダ不公平デアル、麥酒ノ方ハ日本酒ヨリモ贅澤品ト御認メニナッテ居ルヤウデアアルガ、サウデハナイ近來ハ勞働者職工ナドガ麥酒ヲ飲ムヤウニナッテ來タ、殆ド是ハ上戸ノ民衆的飲料ニナッテ來テ居リマスノデ、風教上カラ考ヘマシテモ「アルコール」ノ成ベク稀薄ノ物ヲ飲マセルト云フコトハ宜イ筈デアアル、然ルニ「アルコール」ノ稀薄ノ麥酒ニ特ニ餘計ナル稅ヲ課セラレルト云フコトハ、私ハ甚ダ穩當ヲ缺イテ居リハシナイカ、又甚ダ不公平デハナイカ、ソレニ對シテ大藏大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ

○濱口國務大臣 如何ニモ清酒ノ方ノ増率ノ歩合ハ二割強ニナッテ居リマス、麥酒ハ四割ニナッテ居リマシテ、其率カラ申シマスト、麥酒ノ方ガ餘程高イノデアリマス、然ルニ清酒ノ消費ノ狀況

ト、ソレカラ麥酒ノ消費ノ發達ノ狀況ト云フモノヲ比較ヲ致シテ見マシレバ、麥酒ノ方ノ消費ガ餘程長足ノ進歩ヲ致シテ居リマス、其點カラ考ヘマスト云フト、是等ノ稅率ガ十八圓ト云フコトハ、比較的ニ安カッタヤウナ氣持ガ致シマス、此際ハ率ハ違ヒマスケレドモ、同ジク七圓上ゲマシテ、清酒ノ四十圓ニ對シテ麥酒ヲ二十五圓ニスルト云フ位ノ程度デ、恰度麥酒ノ飲用者ノ負擔力ニ相當スルモノデアラウト、斯ウ考ヘマスカラ七圓上ゲタ譯デアリマス、詰リ麥酒ノ財源ニ於キマスル所ノ消費ノ發達ノ程度ニ依テ稅率ヲ定メタ譯デアリマス

○増田委員 麥酒ノ釀造ノ殖エテ居ルコトハ事實デアアルガ、其内外輸出ガ相當ニ近年發達シテ居ルコトヲ御認メデアラウト思フ、今度ノ増稅ハ全部消費者ガ負擔スルカドウカハ疑問デアアルガ、多少釀造者ガ負擔シナケレバナラヌ結果ニナルト、輸出上ニモ影響スルト云フコトハ是ハ認メンケレバナラヌ、併シ其先ハ議論ニナリマスカラ此程度ニ致シマシテ、次ニ御尋致シマスガ、政府ハ稅制整理ヲ斷行セラルルニ當ッテ、文化政策ニ對シテ閑却セラレタヤウニ私ハ思ハレルガ、其點ニ付テ果シテ考慮ヲ拂ハレタルヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタイ、一國ノ文化ニ最モ關係ノ多イモノハ雜誌書籍デアルト思フノデアリマス、此種類ノモノハ成ベク生産費ヲ安

クシテ、廣ク供給スルト云フコトガ、文化發展ノ上ニ於テ極メテ必要ナ事ト思フノデアリマス、ソレガ即チ出版業デアリマス、其出版業ハ新聞紙法ニ依ルモノハ總テ營業收益稅ヲ免除スルコトニナッテ居リマスガ、至極適當ナ事デアリマス、ソレカラ尙ホ進ンデ、新聞紙法ニ依ラザル出版業者モ、免除スルノガ當然デハナイカ、現行法ハ明治二十九年三月ニ發布サレタ時分ニハ、出版業者ニ課稅サレタナカッタノデアリマス、所ガ明治四十三年カラ課稅サレルコトニナッタガ、甚ダ遺憾デアアル、又他面ニ於テ此度ノ改正案ニ依レバ、雜誌、書籍、教科書ニモ使用サレル「アートペーパー」ニ對シテハ、約三割ノ増稅案ヲ御出シニナッテ居ル、サウスレバ、言換ヘレバ是ハ文化ニ最モ關係ノアル出版業者ノ負擔ヲ重クサスト云フコトニナッテ、結局稅制整理ノ上ニ於テ、文化政策ト云フコトハ一向御考ガ無カッタノデハナイカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○黒田政府委員 御承知ノ通り、新聞紙法ニ依リマスル出版業ニ對シマシテハ、營業收益稅ヲ課セナイコトニ致シテ居ルノデアリマスルガ、其他ノ出版業ニ付キマシテハ、成程只今御意見ノアリマシタ通り、教育ニ必要ナモノモ出版モアルノデアリマスルガ、又其他各種ノ出版モアルノデアリマス、其點カラ見マスト云フト、若シ出版業ヲ、其中ノ一

クシテ、廣ク供給スルト云フコトガ、文化發展ノ上ニ於テ極メテ必要ナ事ト思フノデアリマス、ソレガ即チ出版業デアリマス、其出版業ハ新聞紙法ニ依ルモノハ總テ營業收益稅ヲ免除スルコトニナッテ居リマスガ、至極適當ナ事デアリマス、ソレカラ尙ホ進ンデ、新聞紙法ニ依ラザル出版業者モ、免除スルノガ當然デハナイカ、現行法ハ明治二十九年三月ニ發布サレタ時分ニハ、出版業者ニ課稅サレタナカッタノデアリマス、所ガ明治四十三年カラ課稅サレルコトニナッタガ、甚ダ遺憾デアアル、又他面ニ於テ此度ノ改正案ニ依レバ、雜誌、書籍、教科書ニモ使用サレル「アートペーパー」ニ對シテハ、約三割ノ増稅案ヲ御出シニナッテ居ル、サウスレバ、言換ヘレバ是ハ文化ニ最モ關係ノアル出版業者ノ負擔ヲ重クサスト云フコトニナッテ、結局稅制整理ノ上ニ於テ、文化政策ト云フコトハ一向御考ガ無カッタノデハナイカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

部分が教育ノ爲ニ必要ナル出版物デア
ルト云フ理由ヲ以テ免稅ヲ致シマス
スト云フト、其他ノ販賣業ニ於キマシテモ、
教育ニ必要ナル器具、機械、其他色々ナ
物ガマダアルノデアリマスカラ、是等
ノ物モ權衡上考慮致サナケレバナラヌ
コトニナルノデアリマシテ、其範圍ヲ
定メルコトガ非常ニ困難デアリマス、
又歳入ノ上ニモ非常ニ影響致スノデア
リマスカラ、新聞紙法ニ依リマスモノ
ハ申迄モナク——御承知ノ通りデアリ
マスカラ省略致シマスガ、ソレ等ノ理
由ト稍異ナル所ガアルト云フ關係カラ
致シマシテ、免稅致サナイコトニ致シ
テ居ルノデアリマス

○増田委員 只今黒田政府委員ノ御答
ノ中ニ、出版業ノ營業稅ヲ免除セラレ
ルト、歳入ニ影響アルガ如ク仰セラレ
タガ、大藏省ノ調査ニ付テ調べテ見ル
ト、僅ニ十八萬圓カ二十萬圓位シカナ
イノデアリマス、其金額ハ別デアツテ、
私ハ其趣意ヲ申スノデアリマス、出版
業者ト云フ者ノ中デ、新聞紙法ニ依ル
者ハ免除スルガ、新聞紙法ニ依ラザル
モノハ免除セラレナイト云フ、此點ニ
付テ根本ノ——文化政策ニ付テ一向御
考ガ無カッタノデハナイカト云フコト
ヲ御尋シタノデアリマス、是モ此處デ
別段申述ベルコトハ致シマセヌ、質問
デアリマシテ、討論デアリマセヌカラ
省キマス、次ノ質問ニ移リマス、營業收
益稅ニ付テ御尋シタイ、現行營業稅法

ハ物品販賣業者ニ對シテ其稅ヲ甲乙二
ツニ分ケテアリマス、サウシテ生活必
需品タル米、麥、薪炭、肥料ト云フ物ヲ取
扱フ販賣業者ニ對シテハ、率ヲ輕クシ
テアル、其他ノ嗜好品ト云フヤウナ物
ハ、稍重クシテアル、是ハ良イ事ト思
フ、趣意ガ分ル、所ガ今度サウデナク
ナツタ、同じ物品販賣業者ノ中デモ、米
麥ヤ薪炭ヲ取扱フテ居ル者ハ、半バ勞働
的營業デアツテ、座ツテ御客ノ來ルノヲ
待ツテ居ル樂ナ商賣トハ違フノデアアル、
ソレヲ一律一體ニ課稅セラレルト云フ
コトハ、現在ノ課稅ノ方法ヨリ却テ不
公平ニナルノデハナイカ、社會政策ノ
意味ヲ加味セラレルト云フ御方針デ
アツタナラバ、同じ物品販賣業者ノ中ニ
モ、等差ヲ設ケルト云フコトデアレバ、
社會政策ノ意味ガ現ハレテ來ルト思ヒ
マスガ、ソレニ對シテ何ト御考デア
ルカ御尋シマス

○黒田政府委員 只今御尋ノ御趣意ヲ
御話シニナリマス中ニ、現在ノ營業稅
法ニ於キマシテ、物品販賣業ニ甲乙ノ
區別ヲ致シテ居ル、サウシテ甲ノ方ニ
輕イ稅率ヲ適用シテ居ルノハ、生活ノ
必需品ヲ販賣スルモノデアアルカラ、輕
イ稅ヲ課シテ居ルト云フ風ナ御趣意デ
御述ベニナツタノデアリマスガ、是ハ左
様ナ趣旨デハナイノデアリマシテ、現
在甲乙ト區別致シマシテ、甲ニ對シテ
輕イ稅ヲ課シテ居リマスルノハ、ソレ
等ノ販賣業ガ大量ヲ賣リマシテ利益ノ

少イ——數量ノ多クシテ利益ノ少イト
云フモノガ、同じヤウニ外形標準ニ依
テ率ヲ課セテレルト云フコトハ、不權
衡デアルト云フ趣旨カラ區別ヲ致シテ
居ルノデアリマス、即チ甲ノ中ニモ、此
處ニアリマス通り成程米麥薪炭モアリ
マスルガ、煙草モ中ニ這入ッテ居ルノデ
アリマシテ、必ズシモ生活必需品ト云
フ趣旨デ區別ヲ致シテ居ル趣旨デハナ
イノデアリマスカラ、今回營業收益稅
ニナリマシテ、其收益ニ應ジテ課稅ス
ルト云フコトニナリマススト云フト、斯
ノ如キ區別ヲ設ケル必要ガ無クナルノ
デアリマス、各其收益ニ應ジテ適當ニ
負擔ヲスルト云フコトニナルヤウニ考
ヘテ居リマス

○増田委員 同じ營業收益デアツテ
モ、唯勞働的ニ骨ヲ折ッテ、米麥薪炭ヲ
扱ッテ居ル者ノ一年五百圓ノ收益ト、後
ノ何等筋肉ヲ勞セズシテ五百圓ノ收益
ヲ得ル者トハ、其間多少ノ差ヲ附ケル
コトガ私ハ社會政策デハナイカト言フ
ノデアリマス、之ヲ一律一體ニスルノ
ハ宜クナイデハナイカ、ソレニ付テ御
考ハドウカ、モウ一ツハ營業收益ノ查
定ニ對シテ、調査委員ヲ設ケル御考デ
アルカドウカ、ソレヲ一寸伺ヒマス、丁
度所得稅ニ調査委員アルガ如ク、營業
收益査定ニ對スル調査委員ヲ設ケル御
考アリヤ否ヤ……

テ筋肉勞働ノ加ハリマスモノト、資本
ノ働ク力ノ多イモノト云フヤウニ多少
ノ區別ハアラウト思ヒマス、併ナガラ
現行ノ營業稅ノ外形標準ノ如ク——外
形標準ニ依リマススト云フト、其間ノ權
衡ガ著シク失スルノデアリマスガ、收
益ニナリマススト、大體是等ヲ課スルニ
致シマシテモ、大ナル不權衡ハ無カラ
ウト思ヒマス、之ヲ細カク分ケマスレ
バ、是ハ實際限ガ無イコトデアリマスガ、
大體ソレデ宜シイコトト考ヘテ居ルノ
デアリマス、ソレカラ御尋ノ第二ノ營
業收益稅ニ付テモ調査委員ヲ設ケル
カト云フ御尋デゴザイマスルガ、是ハ
所得稅ノ調査委員ト營業收益稅ノ調査
委員トハ、同一ノ委員ニ於テ調査ヲ致
スコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ
是等ノ調査委員ノ選舉資格、被選舉資
格ト云フモノモ、營業收益稅ヲ納メテ
居ル者モ、所得稅ヲ納メテ居ル者モ、兩
方納メテ居リマス者モ、皆選舉權並ニ
被選舉權ヲ有ツヤウニナツテ居ルノデア
リマシテ、其委員ガ双方ノ所得並ニ
營業收益ヲ決定スルコトニナツテ居
マス

○増田委員 次ニ所得稅ニ付テ御尋致
シタイ、今回ノ稅制整理ニ付テハ、産業
ノ發達ヲ阻碍セザルコトニ御留意爲サ
ツタモノト思フノデアリマス、ソレナ
ラバ株式ノ配當ニ課稅スルノニ對シ
テ、豫テ民間ノ事業會社等ニ於テハ、源
泉課稅ヲ希望シテ居ルノデアアル、ソコ

内デハ收ラヌ、隨分制限外課稅ガ行ハ
レルノデアリマシテ、各地ニ於テ不公

平ガ現ニアルノデアリマス、ノミナラ
ズ現在ノ地價ニ依リマス、一層不公
平ガアルノデアリマス、政府ノ今度計
畫シテ居ル貸賃價格ニ依リマシテモ、
政府ガ少額ノ經費ヲ以テ貸賃價格ヲ調
査決定致シマシテモ、到底公平ヲ期ス
ルコトハ出來マセヌ、寧ロ國稅トシテ
不公平ノアルヨリハ、市町村內ニ於キ
マシテ適當ニ貸賃價格ヲ決メサセル方
ガ公平デアルト思フ、何レ市町村ト市
町村ノ間ニ於ケル不公平ト云フコト
ハ、多少免レヌト思ヒマス、現在ノ制度
ニ於テハ、先達モ申シマシタガ、或ル山
間ノ村ニ於テハ附加稅ヲ一錢モ課ケテ
居ラヌガ、其隣村デ非常ニ課稅シテ居
ル所モアル、現在ニ於テハ不公平デア
ル、併シソレハ財政ノ狀況ニ依テ、或ハ
地租ニ多ク課ケル、或ハ戶數割ヲ多ク
課ケルト云フコトハ、自治團體ニ委シ
テ宜カラウト思ヒマス、第二ハ地租ヲ
國稅トシテ永ク納メテ居ルノデ、地租
ヲ國家ニ納メルト云フコトヲ多少ノ誇
リトシテ居ルガ、ソレヲ國稅ヨリ撤廢
シ、自治團體ニ移シマス、此觀念ニ影
響ヲ及ボシハセヌカト云フ御話デアリ
マス、サウ云フモノモ多少殘ッテ居ルト
思ヒマスガ、是ハ時代ノ進運ニ依テ變
ルト思ヒマス、第三ニハ地租ヲ輕減ス
ル考ハアルカト云フ問デアリマス、無
論輕減致シタイト思ヒマス、私共ハ全
國ヲ通ジテ土地ニ對スル課稅ハ非常ニ
重キニ過ギル、故ニ現在ノ附加稅ヲ重

ク課ケテ居ル所ハ、減稅致サナケレバ
ナラヌ、全國ヲ通ジテ減稅致シタイト
思ヒマス、ソレカラ免稅點ヲ設クル意
思アリヤト云フコトデアリマスガ、趣
意カラ申シマス、地租ノ免稅點ヲ設
クルコトハ理論ニ合致シナイト思ヒマ
ス、併シ自治團體ガ實際ヤッテ見タ後、
特殊ノ狀態ノ所ハヤッテモ宜カラウト
思ヒマス、主義ト致シマシテハ、國稅タ
ル關係カラ之ヲ免稅スルコトハ、各種
ノ不都合ヲ生ズルト思ヒマス、一朝有
事ノ際ニ、地租ハ確實ナル財源デア
カラ、之ヲ國稅ト致シテ置キマスナラ
バ、直ニ增稅ヲシテ國庫ノ收入ヲ得ル
ニ便宜デアアル、然ルニ之ヲ地方ニ委讓
致スト、サウ云フ場合ニハ困ルデハナ
イカト云フ御議論デアリマス、是ハ屢
承ル御意見デアリマシテ、昔ハサウデ
アッタノデアリマス、申迄モナク今日ヨ
リ十數年前ハ、我國ノ國稅中地租ガ首
位ヲ占メテ居リ、所得稅ノ如キハ非常
ニ小サイモノデアッタノデアリマス、ソ
レニ地租ニハ地方ノ附加稅ガ非常ニ膨
脹致シマシテ、今日デハ兩稅ヲ合セマ
スレバ一億八九千萬ニナッテ居ルノデ
アリマシテ、假令一朝有事ノ際ニ於テ
モ、此上地租ニ加稅スル餘地ハ無イト
思ヒマス、故ニ是ハ國稅トシテ一朝有
事ノ日ニモ財源ニ供スルコトハ出來ナ
イト考ヘマス、貴族院多額納稅議員ノ
資格ヲ、吾々ノ主張ガ成立ッテ地租ヲ市
町村ニ委讓サレマシタ場合、其改正ヲ

加ヘルカト云フ問デアアルガ、ソレハ除
外例ヲ設ケテ宜シイ、是ハ大シタ事デ
ナイト思ヒマス、ソレカラ地方地主ハ
嫌ッテ居ナイカト云フガ、地主ノ中デ諒
解シナイモノガアルガ、諒解スレバ反
對シナイト思ヒマス
○増田委員 地租委讓ニ對スル大藏大
臣ノ御説明ヲ承リタイ、ソレヲ以テ私
ハ質問ヲ打切リト致シマス
○濱口國務大臣 此地租委讓ノ問題
ハ、政友會ノ稅制整理ノ問題ノ中デ、其
中心問題トナッテ居ル問題デアリマス、
極メテ重要ナル問題デアラウト考ヘマ
ス、之ニ對シテ意見ヲ述ベルヤウニト
云フ御要求デアリマス、是ハ三分ヤ五
分ト云フ簡單ニハ參リマセヌ、少シク
時間ヲ要スルト考ヘマス、豫メ御承知
置キヲ願ヒタイト考ヘマス、固ヨリ私
ハ政友會ノ委讓論ニ對シテ、反駁ヲ致
ストカ評論ヲ致ストカ云フ考ハ毛頭
持ッテ居リマセヌ、又サウ云フ立場ニ私
ハ居ラヌノデアリマス、併ナガラ此地
租委讓論ト云フ大問題ニ對シ、自分ノ
意見ヲ述ブルニハ、多少議論ニ互ル點
ガアルカモ知レマセヌ、成ベク避ケル
積リデアリマス、若シサウ云フ點ガア
リマシタナラバ、是亦御諒承ヲ願ッテ置
キマス、地租委讓ト云フコトヲ何故ニ
必要トスルカ、如何ナル理由ニ依テ地
租委讓論ト云フモノガ起ッタカト云フ、
其必要ヲ私ハ感ジテ居ナイ、是ガ第一
點デアリマス、段々委讓論ノ論據ヲ承ッ

テ居リマス、ト云フト、三ツノ理由ガア
ルヤウデアリマス、豫テヨリ私モ注意
致シテ居ル問題デアアルシ、又先日三士
君ニ依テ御説明ニナリマシタ、其御説明
ヲ拜聽致シテ居ッタノデアリマス、ソレ
ヲ綜合シテ考ヘマスルト、委讓ヲ必要
トスル理由ハ三ツバカリアッタト思ヒ
マス、ソレニ付テ私ノ考ト致シマシテ
ハ、其委讓ヲ必要トスル理由ヲ首肯ス
ル程度ニナッテ居リマセヌ、先ヅソレヲ
申上ゲルコトニ致シマス、第二ニハ假
令必要ガアッタト致シテ、地租委讓ヲス
ルト云フコトハ不利益デアアル、又利益
デアルトシテモ、其財源ガ甚ダ困難デ
アル、此三段ニ分レルト考ヘマス、地租
委讓ヲ主張セラレル理由ノ第一ハ、地
方分權論デアッタノデアリマス、地方分
權論ハ政友會ノ總裁タル田中男爵ガ屢
適當ノ機會ニ於テ之ヲ發表ニナッテ居
リマス、又先日三士君ニ依テ御説明ガ
アッタノデアリマス、地方分權論カラ出
發シタル地租委讓ト云フコトハ、確ニ
是ハ傾聽スルニ足ル御論デアルト思
フ、其御述べニナッタ所ヲ段々承リ、又
田中男爵ノ議論ヲモ誦味シテ見マスル
ト、日本ノ維新ノ文明ト云フモノハ、即
チ分權制度カラ出發シテ、極端ナル中
央集權ヲ行フコトニ依テ之ヲ建設スル
コトガ出來タノデアアル、其當時ニ於テ
ハ極端ナル中央集權ハ無論必要ナル所
ノ制度デアッタ、然ルニ爾來五十年ノ今
日ニ至ッテ考ヘテ見ルト云フト、現在ノ

狀態ニ於テハ中央集權ガ其度ニ過ギタ、ソレ故ニ中央デヤッテ居ル仕事ヲ地方ニ移ス、即チ地方分權ヲヤル、其地方分權ノ働ニ依テ中央政府ノ仕事ガ減少シテ、地方ノ公共團體ノ仕事ガ増加スル、仕事ガ増加スレバ自カラ經費ヲ要スル、中央政府ハ仕事ガ減ルニ依テ歳入ガ餘ル、此ニ於テカ地方ノ仕事ノ殖エル結果トシテ必要トスル經費ニ充ツル財源ヲ中央カラ地方ニ委譲スベキデアル、其見地カラ地租委譲論ヲ唱ヘルノデアリマス、ソレ故ニ地租委譲論ノ起ルノハ、税制整理ト云フ技術的ノ問題デハナイ、地方分權論ト云フ更始一新ノ政策カラ生ズル結果デアアル、斯様ニ御論ジニナッテ居ルノデアリマス、洵ニ是ハ論理徹底シタル御議論ト承リマス、果シテ然ラバ此問題ニ付テハ、地方分權ト云フ事ガ前提デアッテ、地租ノ委譲ト云フ事ガ結論デナケレバナラス、地方分權ガ本デアッテ、地租ノ委譲ガ末デナケレバナラス、サウナリマスト先以テ地方分權トハ何ゾヤ、今日中央集權ニ依テ、餘計ナ仕事ヲ中央政府ガドレダケシテ居ルカ、現ニ中央政府ノヤッテ居ル仕事ノ中、ドレドレノ仕事ヲ地方ニ移スベキデアルカ、其移ス程度ハドウデアアルカト云フコトガ、先決問題トシテ先ヅ決定セラレナケレバナラス、其決定ヲ俟テ、扱テ是ダケノ仕事ガ中央カラ地方ニ分權サレルトカ、此分權サレタ仕事ヲスルニハ

是ダケノ經費ガ要ッテ現在ノ地方ノ收入デハ足りナイ、ソコデ其財源ヲ中央カラ貰フノデアアル、中央カラ地方ニ移スニ當ッテハ、地租ヲヤルノガ適當デアアルカ、營業稅ヲヤルノガ適當デアアルカ、知リマセヌガ、兎ニ角獨立ノ財源ヲ中央カラ移ス、サウ云フ議論デアアルナラバ、是ハ首尾一貫シタ議論デアリマス、私共不幸ニ致シテ未ダ地方分權論ト云フモノヲ具體的ニ承ツタコトハナイ、ドナタカラモ承ツタコトガナイ、田中總裁ノ御演說ヲ翫味シテ熟讀致シマシタガ、中央集權ノ弊ヲ說カレタ所ニ、近來地方ノ公共團體ト云フモノノ中央ニ對スル依頼心ガ強イ、府縣ハ國ニ向ッテ依頼シ、市町村ハ府縣ニ向ッテ依頼スル、此ニ於テ或ハ地方ノ事業ニ對スル補助金、分擔金ト云フ如キモノヲ盛ニ要求ヲシテ來テ困ル、凡ソ中央カラ地方ニ對スル補助ト云フモノハ、極メテ例外ノ場合デナケレバナラス、其例外デナケレバナラス補助金トカ、分擔金ト云フモノガ、恰モ原則ノ如クニナッテ居ル、土木ニ致シテモ、産業ニ致シテモ、教育ニ致シテモ、何カト云フト中央ニ向ッテ要求スル、斯ウ云フ事ハ今日ノ弊害デアアル、將來サウ云フ事ノ無イヤウニシタイモノデアアル、斯ウ云フ事モ書イテアリマス、若シ地方分權論カラ出發シタル地租委譲論デアルトシマスナラバ、先以テ地方ニ分權スベキ其仕事ノ範圍ト、性質ト、程度トヲ御決定ヲ願

ハナケレバ、又御説明ヲ願ハナケレバ、此結論タル地租委譲論ガ生ジナイノデアリマス、ソレガ私ガ地租委譲論ノ起ツタ理由ノ分ラヌト云フ第一ノ點デアリマス、若シ私ノ希望スル如クニ、中央カラ地方ニ分權スベキ其仕事ノ範圍ト、程度ト、種類トガ定マツタ時ニ於テハ、ソレニ要スル所ノ經費トシテ地租ヲ委譲スルノデアリマスガ故ニ、中央カラ中央カラ地方ニ同ジク委譲セラレタル仕事ヲスル財源トシテ使ハレルノデアリマス、隨テ其地租ヲ貰ヒマシテモ、之ニ依テ地方ノ負擔ヲ輕減スル譯ニ參リマセヌ、地方ノ税制ノ整理ノ財源ニモ何ニモナラス、所デ政友會ノ御主張ヲ承ッテ居ルト、地租委譲ノ必要ハ、第一ニ地方分權、第二ニ之ニ依テ地方ノ税制ヲ整理スルノデアアルト云フ、此二ツノ議論ハ私ノ理解スル所デハ、正ニ相矛盾ヲシテ居ル、一ツノ目的ヲ達スレバ第二ノ目的ヲ達スルコトガ出來マセヌ、第二ノ目的ヲ達シヤウトスルナラバ、地方分權論ガ行ハレナイノデアリマス、斯様ニ考ヘテ見マスト、地租委譲ヲ主張セラルル理由、其必要ト云フモノガ私ニハマダ十分ニ了解ガ出來マセヌ、追ヒト此席ニ於テ質疑應答ヲ重ネラレルノデアリマセウカラ、其時ニ於テハ其理由ガ明瞭ニ私ノ頭ニ映ズルデアラウト云フコトヲ期待致シマスケレドモ、現在ノ狀況ニ於キマシテハ、遺憾

ナガラ私ノ頭ニ十分ニ徹底ヲ致サナイ、隨テ其點カラ來ル所ノ地租委譲論ノ必要ト云フコトガ私ニハ分ラナイ、第二ノ理由トシテ唱ヘラレル所ノモノハ、ソレヲ財源トシテ地方ノ税制ヲ整理スル、即チ税制整理ヲ前提トシテ三土君ガ本會議ニ於テ詳細ニ御演說ニナツタ所ヲ承ッテ居ルト、戰爭前ト今日トノ國費ノ負擔、地方費ノ負擔、其増加シタ歩合ヲ御比較ニナッテ、中央政府ノ費用ノ増加シタ率ヨリモ、地方ノ費用ノ増加シタル率ガ遙ニ多イノデアアル、國稅ノ増加シタ割合ヨリモ、地方稅ノ増加シタ割合ガ多イノデアアルト云フ御演說デアリマシタ、如何ニモ其通りデアリマス、私ハ其數字ニ決シテ間違ハ無イト信ジマスルガ、地方ノ財政ガ中央ノ財政ヨリモ膨脹シタト云フ理由ガ、ソレガ直接ニ地租委譲論ニハ導イテ來ナイト思ヒマス、三土君ノ御話ニナツタ所ヲ承ッテ居リマス、地方財政整理論、地方財政緊縮論ヲ當然御唱ヘニナルベキ筈デアルト承ッテ居ッタノニ、其御議論ハ別ニ御主張ニナラズシテ、直ニ地租委譲論ヲ御唱ヘニナツタノデアリマス、左様ニ私ハ承ツタノデアリマス、如何ニモ財政ノ緊縮ト云フ事ハ容易ナル業デアアリマセヌ、容易ナル等デアアリマセヌガ、地租委譲マデ致シテ地方ノ財源ヲ涵養セヌケレバナラスト云フ必要ヲ認メラレルナラバ、其前ニ地方財政緊縮論ヲ御主張ニナルノガ當然ノ

順序デハナイカト私ハ竊ニ感ジタノデアリマス、第三ノ理由トシテ御述ニナリマシタコトハ、只今増田君ノ御質問ニ對シテモ御答ニナツタ點デアリマシガ、即チ今日ノ國稅トシテ地租ノ不公平ト云フコトヲ御述ニナツタ、其不公平ヲ救済スルニハ地價修正ヲ必要トスル、所デ之ヲ中央ノ財源トシテ置イテ、國稅トシテ存置ヲシテ置イタノデハ、完全ナル地價修正ガ出來ナイ、政府ノ計畫ニ依レバ賃賃價格ニ依テ地租ヲ徵收スルト云フ計畫デアアルサウデアアルケレドモ、ソレハ完全ニハ行ハレナイト思フ、完全ニ行ハレナイナラバ、之ヲ地方ニ移ス、地方ニ移シテ市町村ト云フ如キ狹イ區域ニ於テハ、比較的完全ニ調査ガ出來ルノデアアルカラ、地租ヲ公平ナラシムル點カラ言ツテモ、之ヲ地方ニ移スベキデアアル、之ヲ第三ノ理由トシテ舉ゲラレテ居ッタヤウニ私ハ承知シテ居リマス、若シ國稅トシテ地價修正ガ困難デアルト云フナラバ、之ヲ地方ヘ移シテモ同様デアリマス、地方ヘ移シテ地價修正ガ容易デアルト云フナラバ、國稅トシテ存置シテ置イテモ同じク容易デナケレバナラヌ、二ツナガラ容易デアルトハ思ヒマセヌ、國稅トシテ之ヲ修正スルモ相當ノ難事業デアリマス、同時ニ地方稅トシテ之ヲ整理スルモ相當ノ難事業デアルト思フ、其程度ガ大體ニ於テ同ジデアルトスルナラバ、ソレヲ理由トシテ地租委讓ヲ

唱ヘル根據ニハナラヌト考ヘマス、況ヤ從來世間ニ唱ヘラレテ居リマシタ地價修正論、即チ土地ノ收穫ニ依テ土地ノ實價ヲ調査スル、明治初年ニ行ハレマシタ地租改正ト云フモノヲ此際繰返シタルト云フコトハ如何ニモ難事業デアル、非常ナ長年月ヲ要シ、巨額ノ資金ヲ要スルコトハ論ズルマデモアリマセヌ、ソレヲ吾々ハヤラウト云フノデハアリマセヌ、吾々カラ申シマスレバ簡易ナル所ノ地價修正、即チ土地ノ收穫ニアラズシテ、土地ノ賃賃價格、ソレヲ調査シテ、ソレニ依テ地租ノ改正ヲヤラウト云フ計畫デアリマス、其計畫ニ依リマスト云フト、是ハ三土君ニ於テモ御承知ノ通りデアリマスガ、大正七年カラ三箇年ノ繼續ト致シマシテ、九十三萬餘圓、金額ハ少ナイノデアリマスガ、兎ニ角三箇年間全國ニ互テ田畑ノ賃賃價格ノ標準地ヲ政府ニ於テモ調査ヲ致シテ居リマス、其調査ガ三年懸ッテ一通リ出來マシテ今日其調査ノ結果得タル所ノ書類ハ全國ノ各稅務署ニ殘ッテ居リマス、ソコデ此度賃賃價格ヲ調査スルニ致シマシテモ、新ニ調査シマスノトハ違ヒマシテ、其過去ノ調査ノ結果得マシタ所ノ參考資料ガアルノデアリマシテ、ソレヲ基ト致シテ全國ニ互ッテ二箇年掛リマシテ約千萬圓以内ノ金ヲ投ズレバ、先ヅ一ノ賃賃價格ノ調査ガ出來ルト云フ政府ハ成算ヲ持ッテ居リマス、尤モ一地一筆毎ニ賃賃價格ヲ調査スル

コトハ困難デアリマセウガ、必シモ一筆毎ニ調査シナクトモ宜カラウ、即チ狀況ノ相等シキ所ニ於キマシテハ其區域ヲ限ッテ、或ハ一大字或ハ一小字ト云フ其區域ヲ限ッテ、標準地ヲ設ケマシテ、其標準地ノ賃賃價格ヲ調べテ、ソレニ依テ同區域内ノ田畑ノ賃賃價格ヲ評定スルト云フコトハ、是ハ毫モ差支ナイ遣方デアラウト思ヒマス、其方法ニ依テ調査致シマスレバ、全國ノ土地ノ賃賃價格ト云フモノハ、二箇年懸リマシテ凡ソ一千万圓ニ足ラナイ所ノ金額ヲ以テ致シマスレバ、其目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フコトヲ政府ハ信ジテ居リマス、既ニサウ云フ方法ガ國稅トシテ殘シテ置イテモ出來ルト云フノデアアルナラバ、何ヲ苦ンデ之ヲ地方ニ委讓スルカ、地方ニ委讓スル必要ハ無イト私ハ考ヘリ、此分權論ト第二ニハ地方ノ稅制ノ整理ノ財源ニ充テルト云フコトト、第三ノ地價ノ修正、地租ノ改正ヲヤラウトスレバ、之ヲ地方ニ委讓スルニ如カズト云フ、此三ツノ理由ヲ舉ゲラレテ居リマスガ、其三箇ノ理由ニ對シマシテハ、私ハ只今申述ベタ如キ大體考ヲ持テ居リマス、ソコデ左様ニ考ヘテ見マスルト云フト、此際地租ヲ委讓スルト云フ必要ハ毫モ認メラレテ居ラヌト思フ、其必要ノ無イモノヲ何故委讓シヨウトスルノカ、ソレガ私ハマダ了解ガ出來テ居ナイノデアリマス、ソコデ今度ハ積極的ニ地租委讓ニ

同意スルコトガ出來ナイト云フ理由ヲ簡單ニ申シマスレバ、第一ニハ屢出マシタ、體系論デアリマス、體系ハ國稅ニ限ッテ論ズベキモノデナイト云フ御論モアルヤウデアリマス、苟モ租稅タリ以上ハ、國稅ト府縣稅ト市町村稅トヲ通ジテ國民全體ノ負擔ト云フモノヲ目標ニ致シテ、ソコデ體系ヲ立テレバ宜シイ、斯ウ云フ御論ガ必ズ出ルデアラウト思ヒマス、又アリマス、私ハ大體ニ於テ體系ト申シマスコトハ、出來ルダケ國稅ノ範圍内ニ於テ之ヲ立テ此度ノ政府ノ改正案ニ於キマシテモ、其見地カラ大體體系ヲ組立テ居リマス、所得稅ヲ中心ニ致シ、之ニ地租、營業收益稅ヲ置キ、更ニ資本利子稅ヲ置イテ——然ラバ理論ヲ徹底スル爲ニ國稅ノ範圍ニ於テ體系ヲ立テルト云フナラバ、何故ニ家屋稅ヲ國稅トシテ創設ヲセヌカ、斯ウ云フ議論ガ必ズ出マス、ソコ迄徹底シナクテモ別ニ差支ハナイト考ヘル、ソレマデ徹底ガ出來レバ、洵ニ理論上結構デアリマスケレドモ、ソコマデ行カナクトモ宜カラウ、ノミナラズ家屋稅ハ現ニ地方稅トシテ取ッテ居ル、國稅トシテ取ッテ居ラヌ、ソレヲ態ニ國稅ニ引上ゲテ、現ニ是迄アル所ノ地方ノ財源ヲ奪ヒ、又其家屋ノ賃賃價格ノ調査ト云フモノハ、是コソ國稅トシテ困難デアアル、サウ云フモノヲ——折角地方ノ財源トシテ現ニアルモノ

ヲ態ニ國稅ニ引上ゲテ、サウシテ體系ヲ理論的ニ徹底セシムルト云フ程ニ行カナクトモ宜カラウ、ソレナラバドウセ理論ガ徹底シナイナラバ、五十歩百歩デアアルニ依テ、營業稅モ地租モ資本利子稅モ總テ之ヲ地方ニ委讓シテモ差支ナイデハナイカト云フ議論ガ起リ得ルノデアリマス、併ナガラソコ迄極力論ズベキモノデハナイト思フ、是ハ國稅ト致シテ居ル所ノ地租營業稅、之ヲ態ニ地方ニ持ッテ行ッテ國稅トシテノ體系ヲ保タナクトモ宜カラウト思フ、若シ地租委讓ト云フコトヲ實行致シマスト云フト、租稅ノ體系ハ大體斯様ニナルヤウデアリマス、國稅ト致シマシテハ所得稅營業稅、資本利子稅、府縣稅トシテハ家屋稅、市町村稅トシテハ地租、斯ウ云フ有様ニナツテ來ル、況ヤ更ニ近キ將來ニ於テ若シ營業稅デモ之ヲ地方ニ委讓スルト致シマスレバ、國稅トシテハ僅カニ所得稅ト資本利子稅トアルノミデアリマス、ソレデモ府縣稅、市町村稅通ジテ租稅ノ體系ガ整ヘバ差支ナイデハナイカト云フ議論ガアリマシテモ、私ハ俄カニ其議論ニハ賛同ハ出來ヌ、餘リニ是ハ極端デアルト考ヘテ居リマス、體系論カラ致シテ——府縣稅ノ體系論トシテ此地租委讓ト云フコトハ宜シクナイヤウニ考ヘラレマス、第二ニハ只今増田君カラ御質問モアリマシタガ、之ヲ地方ニ委讓致シマシテ、サウシテ市町村毎ニ貸賃價格ヲ決定スル

ト云フコトニナリマスト云フト、其調査ニ從ッテ、地租ノ率、地租ノ負擔ト云フモノハ、全國ノ一萬二千ノ市町村ニ依テ區々マチ／＼ニナルデアラウト思ヒマス、ソレヲ統一スル上ニ於テ、相當ナル徵稅方法ヲ御設ケニナル御趣意デアルカモ知レマセヌガ、マダ私ハサウ云フ事ヲ承ッテ居リマセヌガ、若シサウデナイトスルナラバ、是ハ非常ナル不公平ニナラウト思ヒマス、今日デモ不公平デハナイカ——ドレ程カ不公平ニナツテ居ルデハナイカト云フ御議論モ出マセウケレドモ、兎ニ角國稅トシテハ全國一律デアリマス、北海道ハ違ヒマスガ、全國大體一律デアアル、農家ニ課スル所ノ地方ノ附加稅ハ、無論是ハ公平ヲ得テ居リマセヌ、得テ居リマセヌガ、農林大藏兩大臣ニ於テ相當ナル所ノ監督ヲ致シ、成ベク不公平ノ程度ノ多カラシメナイヤウニ是ハ監督ヲ致シテ居ル、ソレヲ地方ニ突然ニ移シマスト云フト、地租ノ根本カラシテ不公平ニナルト私ハ考ヘル、其貸賃價格ノ調べカラシテ不公平ニナルト考ヘル、國稅トシテ貸賃價格ヲ調査スル時ニ於テハ、大藏省ハ之ヲ中央ノ監督機關トシテ統一シ、全國ノ稅務監督局、稅務署ヲシテ之ヲ新ニ作ル場合ニ、實際ノ仕事ハ全國ノ五百有餘ノ稅務署デヤリマスケレドモ、之ヲ監督スル源ハ大藏省デアリマスカラ、統一ガ保テルト思ヒマスガ、ソレヲ全國ノ一萬二千ノ市町村

ニ實際ニヤラシムルト云フコトハ、非常ナルソレハ不公平ニナラウト思ヒマス、是ハ第二點デアリマス、第三點ト致シマシテハ、地租ヲ委讓致ス、市町村ハ委讓ヲ受ケタ地租ヲ財源トシテ、サウシテ市町村稅ノ宜シクナイモノヲ整理ヲ致シ、或ハ府縣營業稅、府縣雜種稅ノ外、或ハ戶數割、今日ニ於ケル附加稅デアリマスガ、地方ニ於テハ市町村附加稅トナルカモ知レマセヌガ、其市町村ニ於ケル所ノ附加稅ノ稅ノ率ヲ輕減ヲ致シ、或モノハ之ヲ整理ヲ致シ、其財源トシテ委讓サレタ地租ヲ利用スル、斯ウ云フ事デアラウト思ヒマス、是ハ私ハ目的ニ於テハ決シテ惡イトハ考ヘマセヌ、善イ事デアリマセウガ、其結果ハドウナルカト云フト、寧ロ農民ノ負擔ハ委讓前ニ比シテ重クナリハシナイカト云フ疑ヲ持ッテ居ル、即チ營業稅、雜種稅、若クハ戶數割ト云フモノノ負擔ヲ受ケテ居ル者ハ、必シモ土地所有者ニハ限リマセヌ農民ニハ限リマセヌ、其市町村ノ住民ハ等ク負擔ヲ受ケル、其負擔ヲ幾分輕減スル爲ニ地租ヲ用ヒルト云フコトニナリマスト、土地ノ負擔ト云フモノハ、從前ニ比シテ幾分増加ヲ免レナイト考ヘマス、私ハ理論上左様ニナルヤウニ感ズル、是ハ今日ノ農村ノ狀態ニ於テ稍考慮スベキ事デハアルマイカト云フ感ジガ致シマス、併シハ私ガ地租委讓ニ同意ヲシナイト云フ主ナル理由デハアリマセヌ、附加ヘテ申

スノデアリマス、最後ニ地租委讓ニ今日同意ノ出來ナイ理由ハ財源論デアリマス、或ハ忠君愛國論トカ、種々議論ガアリマセウガ、個人トシテハ銘々ノ考ヲ立テテ然ルベシト考ヘマスケレドモ、政府トシテサウ云フ議論ヲ主張スル譯デハアリマセヌ、最モ困難ヲ感ズル要點ハ財源ノ問題デアリマス、今日ノ地租ノ總額ハ七千四百萬圓デアアル、之ヲ地方ニ委讓シヤウトスルト、七千四百萬圓ノ財源ヲ國庫ニ要スルノデアリマス、先日御議論ノアリマシタヤウニ、地租ヲ委讓スレバ市町村ハ新ナル財源ヲ得ルガ、國庫ノ財源ハ五千三百萬圓減ルト云フコトデゴザイマシタ、私ハ數理上サウ云フコトハ無イト思ヒマス、若シ左様ニ地租委讓ニ依リ國庫ハ五千三百萬圓ノ財源ヲ失ッテソレデ濟ムト云フコトナラバ、別ノ方法デ國庫ニ二千百萬圓ノ財源ヲ供給シナケレバナラス、其供給ノ途ガアレバソレデ宜シイ、若シ供給スル途ガ無イト云フコトナラバ、國庫トシテ新ニ要スル財源ハ依然トシテ七千四百萬圓デアルト考ヘル、七千四百萬圓デモ五千三百萬圓デモ、是ハ程度ノ問題デアリマセウガ、兩者何レニシテモ、ソレダケノ財源ヲ此際國庫ニ於テ新ニ得ルト云フコトハ甚ダ困難デアラウト思ヒマス、財源ニ付テ第一ニ申上ゲテ置キマスノハ、關稅ノ增收デアリマス、政府ガ此度提案致シマシタ所ノ關稅改正案、アレニ

依テ生ズル增收ガ本年ニ於テ千九百萬圓ニ止ッテ居ルト云フコトハ、見積ガ少イト云フ御論ヲ承リマシタ、三土君ノ御説ヲ承リマス、見積ノ少イト云フ點ニ在ル、政友會トシテハ政府ノ提案ニ對シテ相當ナ修正案ヲ御出シニナル御計畫ノヤウデアリマス、ソレハ修正案ヲ拜見致シタ上デナイト何トモ申ス譯ニ參リマセヌガ、此度政府ガ提案致シタ關稅改正案ノ程度ニ於テハ、其增收ハ千九百萬圓ニ過ギナイト云フ確實ナル計數上ノ根據ヲ持ッテ居リマス、固ヨリ三土君ト雖モ增收ヲ目的トシテ關稅ノ改正ヲ爲サルト云フ御考デナイトハ能ク承知シテ居リマス、然ラバドノ點ニ於テ如何ナル修正案ヲ御出シニナルカ、私ハ承知致シマセヌカラ、之ニ付テ政府ノ意見ヲ述ベル運ビニ至リマセヌガ、若シドウシテモ關稅ノ主義——政府ガ此度提案シテ居ル所ノ關稅率ノ上ニ相當引上ヲナサルト云フヤウナ御考デアルトスルナラバ、是ハ大分議論ノ餘地ガアラウト思ヒマス、此度提案政シテ居リマスル所ノ關稅改正案ト云フモノハ、現在ノ内外ノ情勢ニ鑑ミテ、外國品ノ競爭ニ對シテ必要ナル程度ニ於テ最少限度ノ保護ヲ加ヘルト云フ率ヲ盛ッテ居ルノデアリマス、重要産業ニ付テハ——保護ヲ加ヘル必要無イモノニハ無論論ハアリマセヌガ、保護ヲ加ヘル必要アリト思ハル所ノ重要産業ニ對シマシテハ、外國品ト正當ナ

ル競爭ヲスルニ堪ヘ得ベキ所ノ最少限度ニ於テ其率ガ盛ッテアリマス、若シ其上ニ稅率ヲ増加ナサルト云フ御考ナラバ、必要ナル程度ヲ越スノ保護ヲスル外ハアリマス、然ラズンバ關稅增收千九百萬圓ヲ増シテ四千萬圓ニスルコトハ困難デハアルマイカト考ヘマッス、併シ是ハマダ物ガアリマセヌカラ深ク論ズルコトヲ好ミマセヌガ、關稅ニ依テ二千萬圓以上ノ增收ヲ圖ルト云フコトハ、稍困難デハアルマイカト私ハ考ヘル、地租委讓ノ代リ財源トシテ第二ノ財源ハ、政友會諸君ノ御主張ニナッテ居ル所ヲ承リマス、大正十四年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ於テ財政整理ヲ行ッテ、之ニ依テ六千八百萬ノ恆久財源ヲ得タ、其財源ト云フモノハ震災善後費ニ廻サレタ、震災善後費ノ爲ニ公債ヲ募集スル事ニナッテ居タモノヲ、六千八百萬圓ダケ公債募集ヲ減ジタ、ソレダケ公債募集ガ減ツタノデアル、ソレハ地租委讓ヲ行ッテ、ソレヲ地租委讓ノ中カラ持ッテ行ッテ、ソレヲ地租委讓ノ財源ニ充テ、震災善後費ノ不足ヲ生ズル分ニ付テハ、公債政策ヲ還元ヲ致シソレダケ年々公債募集ヲスルコトニ依テ補填スレバ宜イデハナイカト云フコトニナルヤウニ承ッテ居リマス、是ハ先日増田君ヨリモ御述ベニナリマシタ通リ一億五千二百萬圓ノ整理ヲヤリ、其

中六千八百萬圓ノ恆久財源ヲ得タ、ソレガ直ニ震災善後費用ニ投ゼラレタモノト考ヘテ居マセヌ、是ハ申迄モアリマセヌガ、總テノ歳入、又財政ノ整理ニ因ル總テノ浮イテ來タ金ト云フモノハ是ハ一ツノ池ニ入ッテシマッテ、混合シテ一體ヲ成シタ、其一體ヲ成シタモノカラ歳出ヲ支辨シテ行キマスカラ、ドノ財源ガドノ歳出ニ充テラレタト云フ區別ハアルベキ筈ガナイ、サウ云フ事ヲ今深ク論ズル必要ハアリマセヌガ、若シ政友會諸君ハ、地租委讓ノ財源ノ一部トシテ、帝都復興費ノ爲ニ、若クハ震災救護費ノ爲ニ、之ヲ總括シテ申セバ、震災善後費ノ財源トシテ地租委讓ノ公債ヲ増發スルト云フ計畫ヲ立テ、ソレニ依テ普通財源ヲ數千萬圓浮カシテ來テ、ソレデ以テ地租委讓ノ財源ニ充テレバ宜イデハナイカ、斯ウ云フ事デアラウト思ヒマス、若シサウナリマスト是ハ折角改善サレテ居リマスル所ノ公債政策ノ逆轉デアリマス、吾ミハ決シテ之ニ御同意申上ゲルコトガ出來ナイ、深ク此場合ニ於テ公債政策ノ內容ヲ論ズル必要ハアリマセヌ、大正十三年度以來十五年度ニ互テ三箇年間公債ノ募集ヲ一般市場ニ於テ公ニヤレナイト云フ所謂非公募政策ノ結果、財界ガ折角整理ノ道程ヲ辿ッテ居ル此場合ニ於テ、地租委讓ノ爲ニ公債ヲ再ビ發行シテ、ソレヲ公ノ市場ニ募集シナケレバナラヌト云フコトニナリマスト云フト、

非公募政策ノ爲ニ、折角整理ノ道程ニ這入リツツアル所ノ此今日ノ財界ヲ再ビ逆轉ヲ致シ、財政ガ經濟ヲ壓迫シ海外ニ向ッテハ帝國財政ノ信用ヲ失墜シ、國際貸借ノ關係ニ向ッテモ蓋シ宜シクナイ所ノ影響ヲ及ボスデアラウト思ヒマス、總テノ點ニ於テ宜シクナイ影響ヲ及ボスデアラウト思フ、殊ニ世人ノ最モ仰望シテ居リマス所ノ金融緩慢カラ生ズル自然的ノ金利ノ低落、其金利ノ低落ヲ妨ゲテ、再ビ金利騰貴ノ趨勢ヲ辿ルト云フコトニナリマスレバ、茲ニ産業ノ發展ニ向ッテモ容易ナラザル所ノ惡影響ヲ及ボシ、生産費ハ増加ヲ致シ、輸出貿易ハ振ハヌト云フガ如キ、財界ノ各方面ニ向ッテ甚ダ好マシカラザル所ノ影響ヲ及ボスモノデアルト云フコトハ、私ノ信ジテ疑ハザル所デアリマス、ノミナラズ其公債ノ發行ト云フ事ガ、地租委讓ノ財源トシテ一年ヤ二年デ濟ムモノナラバ尙ホ恕スベシ、財政計畫トシテ是ハ數年ニ互テ繼續ヲセンケレバ、其計畫ハ立タナイデアラウト思ヒマス、増田君モ先日指摘サレマシタ通り、今日ノ財政計畫ニ於ケル所ノ公債ノ發行ヲ要スル其年限ハ、一般會計ニ於テハ大正十七年度デオシマヒデアリマス、大正十七年度ト云フハ即チ帝都復興計畫ノ完了スル年デアリマス、無論十八年度以降ニ於テモ、震災復舊諸費ハ殘ッテ居リマス、大正二十三年度二十四年度迄是ハ繼續致シテ

居ル、ソコデ或ハ三土君ガ斯様ニ御考ヘニナツタノデハアルマイカト思ヒマ
スガ、帝都復興諸費ト云フモノハ大正
十七年度デ済ムノデアル、ソレ故ニ一
昨年ノ財政整理ノ結果トシテ浮イテ來
タ所ノ恆久財源ノ六千八百萬圓、此六
千八百萬圓ト云フモノハ大正十七年度
迄ハ必要デア
ルガ、十八年度以降ニ至
レバ帝都復興ノ事業ガ濟ムニ依テ、是
ダケノ財源ガ浮イテ來ル、財政計畫上
浮イテ來ル、餘リガ出テ來ルト御考ヘ
ニナツテ居ルカ知ラス、其餘リガ出テ來
ルマデノ間、三年カ四年ノ間公債募集
デ繋イデ置ケバ、十八年度以降ニナレ
バ經常歲入ガ浮イテ來ルト、斯ウ御考
ヘニナツテ居ルカモ知ラスガ、ソレハサ
ウデナイト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置
カナケレバナラス、何トナレバ大正十
四年度ノ豫算ヲ編成致シ、ソレニ基イ
テ將來ニ互ル所ノ財政計畫、即チ概計
表ヲ編成スル時ニ於テ、既ニ餘ッテ來ル
所ノ金額ト云フモノハ、一般ノ財政計
畫ニ悉ク編入サレテ居ル、其編入シタ
ノガ惡イト仰ッシャルカモ知レヌ、若シ
惡イト仰ッシャルバ、昨日ノ問答ヲ繰返
スコトニナリマスカラ申シマセヌガ、
兎ニ角サウ云フ財源ハ浮イテ參リマセ
ヌ、隨テ地租委讓ノ財源トシテ極ク端
的ニ申セバ公債ヲ募集スル、公債ノ募
集ニ依テ地租ヲ委讓スルト云フ結果ニ
ナリマス、地租ヲ委讓センガ爲ニ公債
政策ヲ續ケルト云フ結果ニナリマス、

若シ財界ノ都合上、公債ノ募集ガ困難
デアツタ時分ニハドウナサル積リデア
ルカ、一度委讓シタ地租ヲ之ヲ再ビ取
上ゲル譯ニハ參リマスマイ、即チ財政
ハ茲ニ行詰ルト云フコトニナルト私ハ
考ヘテ居ル、兎ニモ角ニモ公債募集ト
云フコトニ依テ普通財源ヲ浮カシ、其
普通財源ヲ以テ地租委讓ヲヤルト云フ
コトハ、是ハ間接ノ言ヒ方デア
ルガ、直
接ニ申シテ見レバ、公債募集ニ依テ地
租ヲ委讓スルト同ジ事ニナル、私ハ左
様ナル事ハ決シテ政府トシテ同意ガ出
來ナイ、ノミナラズ國民全體ガソレニ
同意スマイト思フ、デ斯ノ如ク考ヘマ
スト云フト、地租委讓論ノ因ッテ起ル所
ノ理由ガ私ニハ能ク分ラヌト云フコト
デアリマス、地租委讓ノ必要ガアルト
云フ理由、ソレ自身ガ互ニ矛盾シテ居
ルト云フコトデアリマス、地方分權論
ト、地方稅制ノ整理トガ、是ハ明ニ矛盾
シテ居ル、ソレ故ニ自ラ質問應答ノ間
ニ於テ明瞭ニハナラウトハ考ヘマス
ガ、政友會ノ諸君ガ此地租委讓論ト云
フコトヲ何處迄モ御主張ニナラウト云
フナラバ、私モ希望致シマス、委員諸君
モ御希望デアラウト思フガ、其由ッテ來
ル所ノ根本ノ理由タル地方分權論、此
地方分權論ヲモット詳細ニ御説明ヲ願
ヒタイ、ソレト同時ニ——ソレト同時
ニ教育費ノ負擔モ廢メ、治水港灣ノ補
助モ廢メ、總テノ補助ヲ廢メナケレバ、
論理ハ徹底致シマセヌ、サウ云フ議論

ヲ私ハマダ承ツタコトガナイノデアリ
マスガ、兎ニモ角ニモ地方分權論ト云
フモノヲ、ドウ云フ程度ニ於テ地方ニ
移ス、ソレニ依テ地方ノ費用ガ今日ヨ
リドレダケ殖エル、中央ノ費用ガドレ
ダケ減ルト云フコトヲ具體的ニ明細ニ
承ラヌト、地方分權論カラ出發スル地
租委讓論ハ成立ヲ致サナイト思フ、ソ
レガ根本ノ問題デアリマス、他ノ理由
ニ付テハ、是ハ地方稅ニ移サナクテ
モ一向差支ヘナカラウト思フ、ソレガ
第一、若シ委讓ノ必要ガアルトシテモ、
其結果ハ、決シテ公平ヲ得ナイ農村ノ
負擔ガ輕減サレルト云フコトモドウデ
アラウカト思フ、假令其總テガ圓滿ニ
行キマシテモ、結局財源論デ行詰ルト
思フ、其財源ガ到底今日ノ狀態ニ於テ
ハ出來ナイト思ヒマス、以上ノ理由ニ
依テ増田君ノ御質問ニ御答致シマス
ガ、政府ハ地租委讓論ニハ御同意ガ出
來マセヌト云フコトデアリマス
○三土委員 無論意見ヲ闢ハス場合デ
アリマセヌガ、濱口大藏大臣ハ吾々ノ
提案ノ趣旨ヲ……
○元田委員 一寸伺ヒマスガ……
○三土委員 私人提案ニ對シテ誤解ガ
アルカラ、辯明シテ置キマス
○元田委員長 此場合ニ於テ御説明ニ
ナルト云フコトデアルト、議事ノ進行
ガ案レマスカラ
○三土委員 誤解ガアリマスカラ、ソ
レニ對シテ辯明ヲ致シマス

○元田委員長 如何デゴザイマセウ、
斯ウ云フ際ニ誤解デアルト云フコト
デ、起ッテ御述べニナルコトガ出來タナ
ラバ、御満足デアラウト思ヒマスガ、併
シ之ヲ……
○三土委員 併シ私ノ提案致シテ居リ
マス地租委讓ガ問題ニナツテ、ソレニ對
シテ質問ガ起ッテ、尙ホ嫌ラヌデ大藏大
臣ニ質問ヲセラレタ、所ガ大藏大臣ノ
答辯セラレタ所ハ、私共ノ提案シタ趣
意ヲ非常ニ誤解シテ居ル、根本的ニ誤
解シテ居ル所ガ數點アリマスカラ、是
ハ議事ノ進行上、此際辯明致シテ置イ
タ方ガ適當デアラウト思ヒマス
○元田委員長 能ク分ッテ居リマスガ、
只今マデハ一般ノ質問ヲスルト云フコ
トデ質問致シテ、私ハ自己ノ意見ト致
シテハ、政府案ハ政府ガ説明シ、各黨派
ノ案ハ提案者ガ一應説明シテ、質問ニ
移リタイト云フ方針ヲ最初御相談ニ及
ンダノデアリマスガ、ソレニハ及バヌ、
ソレハ他日機會モアルデアラウカラ、
先ヅ政府ニ對シテ質問ヲシタラ宜カラ
ウト云フコトデアッタノデ、ソレデ只今
三土君ガ説明シタイト云フヤウナコト
ガ起ツタノデアラウト思ヒマスガ、私ハ
此際アナタガオヤリニナレバ、明白シ
テ宜シカラウト思ヒマスガ、併シ是カ
ラ先ニ機會アル毎ニ、質問シタ場合ニ、
其點ニ付テ明ニシタイト起タレテハ、
迎モ議事ノ進行ハ出來マセヌガ……
○砂田委員 政府ノ言フ所ニ誤解ガア

ルノデス

○元田委員長 誤解ガアルノニシテモ、皆サウ云フコトガ起ツテ來マスカラシテ——ドウデゴザイマセウ御相談デスガ、アナタノ御言葉ヲ遮ルノデハゴザイマセヌガ、整理上私ガ申上ゲルノデスガ、之ヲ御許シ申上ゲレバ、外ノ人ガ質問シタ場合ニ政府ガ答辯スル、私モ同ジ問題デアアルカラ此機會ニ説明シタイト言出シタラ、限リガアリマセヌ、ソレデ皆サンニ御相談ノ上ニ決定スル外アリマセヌ、是ハ議事ハ極ッタ話デ貴方ガ其動議ヲ御出シナレバ……

○三土委員 懇談的ニ申スノデ、今ノ大藏大臣ノ言ハレタコトガ、サウ云フ風ニ了解サレテ居ルナラバ非常ニ迷惑デアアル、地方ノ實情ナドヲ少シモ御存ジナイノデアリマスカラ、吾々ノ提案ノ趣旨ノ在ル所ノ一二點ヲ此際辯明シテ置キマス方ガ、議事ノ進行ニ宜イダラウト思ヒマス

○元田委員長 委員長ニ於キマシテハ、議事ノ進行上差支ヲ起サナイ方ガ宜シイカト思ヒマシテ、只今ノ事ヲ申シタノデアリマスケレドモ、此機會ニ於テ當委員會ノ三ツノ大問題トナツテ居ル地租委讓問題デアリマスカラ、ソレニ提案ノ理由ニ付テ政府ガ誤解ヲシテ居ルヤウナ反對意見ヲ述ベラレタカラシテ、之ヲ明カニシテ置キタイト云フコトハ、無理ナ御請求デモナカラウト思ヒマス、(「議事進行ニ付テ」委員

長ノ職權デアアルト呼ヒ發言者多シ)委員長ノ職權デアアルト云フコトデアリマシレバ、今迄ノ例ニ依テ許サヌノデアリマスカラ、此際ニ協議的ニ御述べニナルコトモ宜シクハナイカト思フカラシテ、規則上ハ今迄ノ慣例ハ許サヌ方針デヤツテ行ケレドモ、特ニ御協議致シマス

○町田委員 議事進行ニ付テ其問題ニ對シテ御許シニナツタナラバ、私ハ大體ニ於テハ質問ノ順序カラ政府ノ誤解ガアルト云フコトニ對シテハ、只今三土君カラ其誤解ノ在ルト云フ所ヲ御聲明ニナツテ、適當ナル他ノ機會デ御ヤリニナツタ方ガ宜イトモ考ヘマシタガ、併シ事柄ガ重大デアリマスカラ、討論ニ入ラス、誤解ノアル趣意ダケヲ御話ニナルノハ、議事進行ノ爲ニ宜イト思ヒマスカラ、三土君ヨリ誤解ヲ解クト云フ範圍内デ御辯明ニナツテ、討論ノ事ハ他日ノ機會ニ御廻シ下スツタ方ガ宜シイト思ヒマス

○元田委員長 皆サン、大體憲政會ノ御方モ今ノ意味ニ於テ此際ニ御許シスルコトデアリマスカラ、御同意下サイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○元田委員長 ソレデハ三土君ニ特ニ只今ノ趣旨ニ於テ發言ヲ許スコトニナリマシタ

○三土委員 私モ此場合デアリマスカラ、最初カラ討論的ニ議論ハ致サヌ積

リデアリマス、只今ノ大藏大臣ノ御陳述ニ對シマシテハ、全部反駁論ヲシタイノデアリマスカラ、斯ウ云フ場合デアリマスカラ、唯誤解ノ點ダケヲ二三申上ゲテ置キマス、濱口大藏大臣ハ第一ニ私ガ地租委讓ノ理由トシテ地方分權ノ必要ヲ先ヅ唱ヘテ居ル、地方分權ト云フコトガ目的デアツテ、其手段トシテ地租委讓ヲ主張スルノデアアルカラ、地方分權ト云フモノヲドウ云フ風ニスルカ、現在地方ガヤツテ居ル、即チ縣市町村ノ自治團體デヤツテ居ル仕事ノ中、地方ノヤルベキモノ、國ガヤルベキモノヲ區別シテ、此整理カラシテ行カナケレバ地租委讓ト云フコトガ出テ來ナイ、ソレハ大變ナ誤解デアアル、吾々ハ左様ニ區別スルマデモナク、現在既ニ國ガ命ジテ居ル國家ノ事務、國家ノ事業ノ爲ニ、市町村自治體ノ事務事業ト云フモノガ膨脹致シテ居ル、此現在ノ程度ニ於キマシテハ、地方ノ財政ヲ如何ニ整理致シマシテモ、甚シキ節減ガ出來ナイ、現在ノ狀況ニ於キマシテモ、地方ニ對シテ、殊ニ自治團體ノ市町村ニ對シマシテハ、相當ノ財源ヲ與ヘルニアラズンバ、地方自治團體ハ立行カヌ、是ガ自治團體ノ根本ヲ毀シテ居ルノデア

ル、御承知ノ通り始メテ自治制ヲ布キマシタ際ハ、私ガ先達カラ申シマシタ通り、市町村ノ下級自治團體ノ財源ト云フモノハ、寧ロ税外收入ヲ以テ主ト

致シマシテ、稅收入ハ除外トシテ許シテアツタヤウナ狀態デアリマス、然ルニ爾來國ノ權力ニ依テ、自治團體ニ命ジテ居ル仕事ガ澤山殖エマシタ結果、稅外收入ヨリモ稅收入ヲ多クシナケレバナラヌヤウニナツタ、然ルニ地方ノ自治團體ハ左様ナル事デハ獨立シタ所ノ稅源ガ無イ、故ニ獨立ノ稅源ヲ與ヘルト云フコトニシテ、地方ノ自治團體ガ力ヲ盡シテ自ラ其仕事ヲシテ行クダケニシナケレバ、所謂自治團ノ發達ヲ促ス所以デハナイ、地方分權ニ付キマシテハ、單リ仕事ノ上ノミナラズ、他ニ國ガ監督シ、干涉シ、指導シ、誘掖シテ居ル事柄ヲ、成ベク地方ニ委任シテ行クト云フ方針ヲ執ルコトモ、一ツノ自治團體ニ對スル地方分權デアリマス、吾々ハ漸次サウ云フヤウニ導イテ行キタイ、一面ニ於テハ地方自治團體ニ或ル稅種ヲ與ヘルト云フコトモ、力ヲ與ヘル所以デアアルト考ヘテ居リマス、其理由ニ依テ地方分權論ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ニハ地租委讓ヲシテ地方ノ財源ヲ與ヘル議論トシテ、私ガ國費ノ膨脹ヨリモ地方費ノ膨脹ガ遙ニ多クナル、膨脹率ガ大キイ、ソレヲ前提トシテ地租委讓ヲ唱ヘル、ソレナラバマダ地方ノ財政ノ整理ガ先決問題デハナイカ、ソレ無クシテ直ニ地租ヲ委讓スルト云フコトハ、本末ヲ顛倒シテ居ルヤウナ議論ニナルヤウニ言ハレタ、是ハ只今申シマシタ通り、今日

ノ地方ノ財政ニ於キマシテハ、國ノ財政ノ整理ノ餘地ヨリモ尙ホ少イと思ヒマス、能ク濱口君ガ地方ノ實情ヲ御覽ニナレバ分ルコトと思ヒマスガ、地方ノ實情ヲマダ御了解ニナッテ居ラヌヤウデアルカラ、其點ニ誤解ガアリハセヌカト思フ、第三ニ地租ヲ地方ニ委譲致シマス云フト、農村ノ負擔ガ却テ増加スルト云フヤウニ言ハレルノデアリマス、是等ハ大ナル誤解ダと思フ、現在ノ附加稅ガアル上ニ、本稅全部ヲ持ッテ行ク、此兩方ノ負擔ノ上カラ輕減サレルノハ當然デアアル、又農村ニ於キマシテハ、所得稅モ營業稅モサウアリマセヌ、土地ニ對スル課稅ト戸數割デアリマス、戸數割ト土地ニ對スル課稅ト兩方ニ對スル負擔ガ重クナッテ、茲ニ地租ヲ讓ッテヤレバ、兩方ニ於テ減稅サレルコトハ當然デアリマス、ソレカラ第四ニハ地租ヲ自治團體ニ委譲スルト致シマシテ、七千四百萬圓ノ財源ヲ國庫ガ失フ、然ルニ私ガ五千三百萬程度ノモノト云ウタコトハ、算數上サウ云フコトハ出テ來ナイ、私ハ先般來屢申上ゲマシタ通り、政府ノ御提案ニ依リマスト土地ニ對スル地租ノ輕減額ガ二千百萬圓デアリマス、他ノ租稅ニ付キマシテハ私ハ意見ヲ留保致シテ置キマシマス、對スル關係ニ於キマシテハ、全部地方ニヤルモノハ二千百萬圓ヲ濟マスカト云フ問題デアリマス、デアリマスカラ七千四百萬圓ト云フコトハ全

部ノ問題ニナラナイ、即チ政府案ト吾部ノ案トノ差額ダケガ新ニ財源ヲ取レバ宜イ、其見地カラ私ハ申上ゲタノデアリマス、誤解ノ無イヤウニ願ヒマス、公債政策ニ付キマシテハ、濱口大藏大臣ハ抽象的議論ト致シマシテ非常ニ仰山ナルコトヲ言ハレマシタ、私ナドカラ申シマスレバ、公債財源ニ一二年依ルト云フト、一箇年僅ニ三千萬圓カソコラノモノデアアル、之ガ爲ニ日本ノ產業ヲ破壞シ、金融界ニ打撃ヲ與ヘ、一般ノ市場ヲ攪亂スルト云フコトハ、抽象論デアアル、具體的ノ問題トシテ、左様ナ日本ノ經濟界デハナイト思フガ、此以上ハ議論ニナリマスカラ敢テ申シマセヌガ、大體以上數點ダケ誤解ガアルヤウデゴザイマスカラ申上ゲテ置キマス、尙ホ委員長ノ雅量ニ對シテ感謝致シマス

○元田委員長 次ハ砂田君

○砂田委員 私ノ質問致シタイト思ヒマス點ハ、五六點ニ分レテ居ルノデアリマス、只今政友會ノ地租委讓論ニ對シテ、大藏大臣ノ御述ベニナリマシタ意見ヲ承リマシテ、更ニ稅制ノ根本問題ニ付テ疑ヲ深ウ致シタノデアリマス、先ヅ其點カラ伺ッテ見タイト思ヒマス、政友會ガ地租委讓ヲ唱ヘタ其一ツノ理由トシテ、地方稅ノ負擔ガ非常ニ多クナリ、地方費ガ非常ニ嵩ンデ來テ居ル、之ヲ解決ヲ付ケル爲ニ、地租ヲ委讓スルト云フコトヲ言フナラバ、先ヅ其以前ニ地方費ノ輕減ヲ圖ルト云フコトヲ

唱ヘナケレバ理窟ガ合ハヌ、斯様ニ大藏大臣ハ仰セラレタノデアリマス、ソコデ私ノ疑ヲ起シマシタ點ハ、現在ノ此嵩ンデ參ッタ地方費ヲ、現大藏大臣ハ尙ホ十分ニ整理シテ、節約ヲ加ヘル餘地ガ十分ニアルト御考ニナッテ居ルデゴザイマセウカ、又此地方費ガ非常ニ嵩ンデ來テ、地方民ガ地方費ノ負擔ニ苦ンデ居ルト云フ事實ハ御認メニナリマス、若クハ地方費ノ負擔ハ、堪ヘ難キ負擔ニナッテ居ルモノトハ大藏大臣ハ御認メニナラヌト云フ御趣旨デゴザイマス、先ヅ其點カラ承ッテ見タイト思ヒマス

○濱口國務大臣 政府ハ財政ノ整理緊縮ヲ圖ルニ當リマシテ、獨リ中央政府ノミノ財政ニ付テ考慮シタ譯デモアリマセヌ、同ジク地方ノ財政ニ付キマシテモ、整理緊縮ノ方針ヲ採リマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレガ爲ニ大正十四年度ニ於テ、私記憶ヲハッキリ致シマセヌガ、一千萬圓以上ノ緊縮ヲ圖ッタと思ッテ居リマス、十五年度ニ於キマシテモ、相當出來得ルダケノ整理緊縮ヲ圖ルベク内務大臣カラ地方長官ニ訓令ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今日ノ狀況ニ於テ地方ノ財政ト云フモノガドレダケ緊縮ノ餘地アリヤ、ドレダケ整理ノ餘地アリヤト云フコトヲ、私ハッキリ申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、苟モ其餘地アリト認メタモノニ付キマシテハ、將來ニ

互テモ出來ルダケノ整理緊縮ヲ加ヘル積リデアリマス、而シテ第二ノ御質問ハ、現在ノ地方ノ負擔ハ隨分重イ狀態ニナッテ居ルト考ヘルガ、政府ハソレ程ニ認メテ居ナイカ、斯ウ云フコトデアリマス、固ヨリ政府ニ於キマシテモ、今日ノ地方ノ負擔ハ相當ニ重イト認メテ居リマス、認メテ居リマスガ故ニ、此度ノ稅制整理ヲ行フニ當リマシテハ、中央地方兩稅ヲ通ジマシテ、相當ナル所ノ整理案ヲ立テマシテ、御協賛ヲ仰イデ居ルヤウナ次第デアリマス、内務省ノ政府委員カラ先日モ説明アリマシタ通り、地方稅ノ中、或ハ營業稅雜稅等ノ中デ、相當ナル所ノ整理ヲ行ヒ、又或ルモノハ之ヲ廢止スルト云フ如キコトモ計畫ニナッテ居リマス、其外ニ尙ホ此度ノ教育費ノ國庫負擔ノ増額ニ依テ、地方ノ財政ニ餘裕ガ生ズル、其生ジタル所ノ餘裕ヲ以テ、地方稅ノ整理ノ資源ニ充テルト云フコトモ、政府ハ考慮致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其負擔ノ緩和、輕減ヲ圖ルコトニハ出來ルダケノ意ヲ用ヒテ居ル考デアリマス

○砂田委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、地方費ノ非常ニ重クナッテ居リ、地方民ノ負擔ノ重イト云フ事實ハ、大藏大臣モ御認メニナッタノデアリマス、ソレニ依テ政友會ノ案ニ對シテ、何故ソレヲ節減スルコトヲ先キニ唱ヘナイカト云フコトガ地租委讓ノ反對ノ理由ニ

ハナラヌト云フコトニナルノデゴザイ
マス、即チ若シソレガ反對ノ理由ニナ
ルナラバ、地方費ノ負擔ハ重クナイト
云フコトヲ大藏大臣ガ御認メニナッテ
居ルノナラバ格別、既ニ重イト云フコ
トヲ認メテ、政府モソレヲ整理スルコ
トニ努力シテ居ルト言ハレルノデア
ル、其整理スルコトニ努力スルト云フ
行キ道ガ、政友會ノ主張ト政府ノ主張
ト違フト云フダケデ、先ツ整理緊縮ヲ先
キニ唱ヘナケレバ地租委譲ハ議論ニナ
ラヌト云フ議論ハ全然當ツテ居ラヌヤ
ウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、此以
上ハ議論ニナリマスカラ私ハ此點ニ止
メマス、更ニ租税ノ體系論ニ付テ御話
ガアリマシタガ、大藏大臣ノ體系論ハ、
國稅ト地方稅トハ、之ヲ別々ニスベキ
コトガ宜イト信ジテ居ル、議論トシテ
ハ地方稅ト國稅ト相俟テ一ツノ體系ヲ
作ルト云フコトモ之ヲ認メル、斯様ニ
仰セラレタノデアリマス、固ヨリ是ハ
各議論ノ岐ルル所デゴザイマスガ、今
同ノ稅制整理案ノ大體ヲ拜見致シ、又
過日來ノ大藏大臣ノ質問應答ヲ拜聽致
シテ居リマス、地方稅ト國稅ト相俟
テ體系ヲ保ツコト必シモ純理ニ反シ
ナイト云フ意味デ、家屋稅ト云フモノ
ヲ地方稅ニ殘シタルノデアアル、斯様ニ仰
セラレタヤウニ思フノデゴザイマス、
更ニ又此地方稅ニ關スル法律案ヲ今回
御提案ニナッテ、是ハ國稅ダケノ體系ガ
完全ニ備ハツテ居ツテモ、地方稅ノ體系

ガ案レテ居ル場合ニハ、國民負擔ノ均
衡ヲ保ツコトガ出來ナイ、故ニ地方稅
ト國稅ト相俟テ負擔ノ均衡ヲ圖ルヤ
ウニ改革ヲ加ヘナケレバ其趣旨ハ徹底
シナイモノト御考ニナッテ、斯ウ云フ稅
制ノ案ガ出タモノト信ズルノデアリマ
ス、若シ是ガ全然地方稅ハ地方稅、別々
デ、如何様ニナツテモ差支ナイト云フノ
ナラバ、今日マデ府縣制、市町村制ノ上
ニ稅ニ關スル問題ハ悉ク書イテアル、
特ニ法律ヲ以テ斯様ナ事ヲ定メル必要
ハナイト考ヘルノデアリマス、サウ致
シマスト大藏大臣ハ、國稅ハ國稅ダケデ
體系ヲ備ヘ、地方稅ハ地方稅ダケデ、別
別ニシタ方ガ、相俟テ體系ヲ備ヘルヨ
リ尙ホ宜イト云フ御議論ニナルノデゴ
ザイマスガ、若クハ矢張國稅ト地方稅
トハ相俟ツテ一ツノ體系ヲ成スノト、別
別ニ體系ヲ作ルノト、其間ニ何等ノ差
ガナイト云フコトニナルノデゴザイマ
スカ、其點ヲ伺ツテ置キタイ

○濱口國務大臣 或ハ砂田君ノ御質問
ノ御趣意ヲ私十分ニ了解スルコトガ出
來ナカッタカモ知レマセヌガ、大體ニ於
テ租稅ノ體系ト申シマスコトハ、私共
ノ理解スル所ニ依ルト、是ハ國稅ニ付
テ申シテ居リマス、殊ニ國稅ノ中デモ、
直接國稅ニ付テ體系ト云フコトヲ私共
ハ申シテ居リマス、ソレ故ニ此度稅制
ノ整理ヲ爲スニ當リマシテモ、其體系
ハ出來得ル限り國稅ノ範圍内ニ於テ、
又其中デモ直接國稅ノ範圍内ニ於テ之
ヲ正スト云フコトニ努力シタ積リデア
リマス、唯家屋稅ニ例外ノアリマスコ
トハ先刻モ申述ベタ通りデアリマス
ガ、大體ニ於テ稅ノ體系ト云フコトハ、
國稅ニ就テ申シテ居リマス、國稅モ主
トシテ直接國稅ニ就テ申シテ居リマ
ス、然ラバ地方稅ハ、體系論ノ範圍外ト
シテ見ルガ故ニ之ヲ輕ク考ヘルカト云
フ御質問ノ御趣意デアリマシタガ、左
様デハアリマセヌ、體系ハ體系デアリ
マスガ、地方稅デアリマシテモ、國稅デ
アリマシテモ、其負擔ノ權衡ヲ取り、其
負擔ノ公平ヲ期スルト云フ點ニ於テ
ハ、同様ニ重キヲ置クベキモノデア
ルト信ジテ居リマス、其見地カラ致シマ
シテ、此度兩稅ノ整理案ヲ立テタ譯デ
アリマシテ、體系論トハ別ニ、整理論ヲ
私ハ持ツテ居ル積リデアリマス、若シ御
質問ノ御趣意ニ副ヒマセヌナラバ、重
ネテ御答致シマス

○砂田委員 私人言葉ガ多過ギテ、却
テ御了解ガ出來ナカッタカモ知レマセ
ヌ、先程ノ御意見ノ中ニ於テ、政府ハ國
稅ト地方稅ト別々ニ體系ヲ考ヘルト
言ハレタノデアリマス、併ナガラ地租
ヲ地方ニ委譲シ、營業稅ヲ地方ニ委譲
シテ、國稅ト地方稅ト、體系ヲ相俟テ
行クト云フコトモ一ノ議論デアリマ
ス、併シ其議論ニ賛成スルトモ反對ス
ルトモ大藏大臣ハ言ハレナカッタ、ソレ
デ私ノ質問ノ要旨ハ、別々ニ體系ヲ立
テルノガ宜イト云フ大藏大臣ノ意見デ
アルカ、或ハ何方ニナツテモ結果ハ同ジ
デアルト云フ御意見デアアルカ伺ヒタ
イ、大藏大臣ハ地租ヲ地方ニ委譲スル
トカ、營業稅ヲ地方ニ委譲スルトカ云フ
コトニナルト、現在ノ體系ヲ案ルモノ
デアルト云フコトノ意味ニ於テ之ニ反
對ダト言ハレタ、ソコデ吾々ノ考ヘテ
居ル趣旨トハ根本ニ於テ違フノデア
リマスガ、國稅ト地方稅ト相俟テ體系ヲ
作ルト云フコトガ租稅體系ノ上ニ大缺
陷ガ生ズルト云フ理由ガアルナラバ伺
ヒタイ

○濱口國務大臣 先刻モ申シマシタ通
リ、私共ノ租稅ノ體系論ハ、國稅ニ就テ
申シテ居ル積リデアリマス、殊ニ直接
國稅ニ付テ申シテ居ル積リデアリマ
ス、然ルニ三土君ノ御議論ノ如ク、租稅
ノ體系ト云フコトハ、獨リ國稅ニ限ラ
ヌ、ノミナラズ直接國稅ニ限ラヌ、國稅
ト地方稅ヲ通ジテ、體系ガ全體トシテ
立ツテ居レバ宜シイデハナイカ、斯ウ云
フ御議論ノヤウデアリマス、ソレモ一
ツノ議論ト考ヘマスガ、私ハ其體系論
ニハ御同意ガ出來マセヌ、隨テ地租ヲ
地方ニ委譲シ、續イテ營業稅ヲ委譲ス
ルト云フコトデハ、私共ノ考ヘテ居ル
體系ヲ案ルモノト思ヒマス

○砂田委員 私人モウ一ツ先キヤ伺ヒ
タイノデアリマス、之ヲ三土君ノ言ハ
ル、如キ體系ニシタナラバ、國家ノ爲
メ、國民ノ爲メ不利益デアアル、斯ウ云フ
コトデアレバ、地租委譲ニ反對スル理

由モ出ル、然ルニ何處ガ惡イト云フコトヲ言ハレナイデ、唯議論ガ違フ、自分ハ直接國稅ニ止メルト云フコトヲ以テシテハ、地租委讓ニ反對スルノ理由ニナラヌト思ヒマス、併シソレダケノ意味、デ言ハレタナラバ、ソレデ結構デアアル、ソレ以上聽ク必要ハナイ、更ニ今一ツハ、政友會ガ地租委讓ニ對シテ、七千四百萬圓ノ財源ノ中デ、其一部ヲ行政整理ノ金ニ取ルト云フコトヲ主張シタ、其行政整理ノ金ガ復興費ノ金ニ、這入ッテ居ルカ何處ニ這入ッテ居ルカ分ラヌデハナイカ、ドノ分ヲ以テ是カラ先ノ稅制ノ整理ニ充テルカト云フコトハ分ラヌデハナイカ、若シ行政整理ノ中ニ、六千八百萬圓ヲ入レテ居ルナラバ、非常ナル誤リデアルト云フ御議論デアリマシタガ、十四年度ノ豫算ニ於テ、大藏大臣ノ理想ガ實現シテ、公債ヲ非常ニ少額ニ切詰メルコトノ出來タノハドウカト言ヘバ、是ハ即チ行政整理ニ依テ經費ノ節約ヲ行フタ結果ガ歲入ヲ公債ニ仰ガズニ濟ムコトトナッタノデアリマス、サウスレバ此六千八百萬圓ト云フ恆久的財源ガ、行政整理ニ依テ出來タガ、故ニ法律ニ依テ、一般公債ニ依テ支辨スルコトニナッテ居リマシタ、復興費ト云フモノモ、公債ニ依ラズシテ結束ガ附クコトニナッタ以上ハ此六千八百萬圓ガドノ分ニ入ルヲ問ハズ、少クトモ公債ヲ打切ルコトニナッタ事實ダケハ爭ヘナイモノト信ズルノデアリマス、ソコ

デ此財源ノ一部ヲ割イテ——僅カ三千萬カ三千四百萬ノ金ヲ割イテ、之ヲ公債ニ依ラシメテ、ソレダケノモノヲ國民負擔ノ輕減ニ充テルコトガ、日本ノ產業界ヲ案シ、日本ノ經濟界ヲ攪亂スル虞ガアルト云フ事實ガアリマスレバ、具體的ニ伺ヒタイ、ノミナラズ大藏大臣ノ斯様ナ御議論ガ成立ツモノトシマスレバ、四十六議會ノ當時、大藏大臣ガ地租、營業稅ヲ減稅スルト云フコトヲ、憲政會ヲ代表シテ御演說ニナッタ其當時ノ公債ノ總高ハ、四億何千萬圓デアリマス、其時代ニ於テスラ行政整理ヲシテ、地租ト營業稅ノ大減稅ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトガ、憲政會ノ主張ナリト仰セラレタ御議論、若シ此處デ三千萬カ、四千萬ノ公債ヲ募ルコトスラ、國家ノ安危ニ關スル問題デアルト假定スレバ、其當時ニ於テ公債ヲ打切り、全力ヲ擧ゲテ政府ニ整理ヲ迫ルガ當然ト考ヘマス、之ニ付テ大藏大臣ハ如何様ニ考ヘルカ伺ヒマス

○濱口國務大臣 初メノ體系論ハ、別ニ御質問デハナカッタノデアリマスガ、一應申シテ置カナケレバナリマセヌ、地租ヲ國稅トセズ、之ヲ府縣ニ移シテモ、將タ又市町村ニ移シテモ、國家ノ租稅ハ、國稅、府縣稅、市町村稅ヲ通ジテ體系ガ立テバ宜イデハナイカト云フ御趣意ニ依テ、サウス云フ御質問ガ起ルト考ヘマス、サウス云フコトニシテ何故惡イカト云フ意味ノ御話ガアリマシタガ、私ノ考ヘル所ニ依レバ、地租ハ國稅トシテ存置スルガ宜シイ、體系論トシテハ國稅トシテ殘シテ置イテ、一定ノ課稅標準ニ依リ、一定ノ稅率ニ依テ賦課徵收スル、即チ所得稅ノ補完稅トスル、是ハ今日法定地價ニ於テ田畑百日分ノ四半、其他ノ土地各率ガ違ッテ居リマスガ、兎ニ角全國ヲ通ジテ劃一的ニ課稅標準ガアル、稅率ガアル、茲ニ於テカ所得稅ノ補完稅タル目的ヲ達スルノデアリマス、所得稅ノ企テ得難イ所ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマス、即チ資產ニ重課スル、其重課ノ程度モ自ラ定マルノデアリマス、即チ中央ニ在ル所ノ所得稅、其周圍ヲ圍ンデ居ル所ノ三四種ノ補完稅ガ、是ガ合セラレ、綜合サレテ、初メテ體系ガ整フノデアリマス、若シ之ヲ地方ニ委讓致シマスト云フト、段々御話ヲ承ルガ如ク、地方ニ依テ其課稅標準ヲ異ニシ、或ハ課稅標準ヲ異ニ致シマセヌデモ、地方ニ依テ直接ニ直チニ其稅率ヲ異ニスル、或ハ免稅點ヲ設クル市町村モアリ、或ハ免稅點ヲ設ケザル市町村モアル、無論全國的ニ賃賃價格ニ依ルト云フ御趣意モアリマセウガ、ソレデモ稅率ガ初メカラ區々ニナッテ參ルト云フコトデハ、是ハ所得稅ノ補完稅タル目的ヲ達スルカドウカト云フコトヲ判斷スル材料トハナラナイノデアリマス、サウス云フ區々マチノ事デ、全國一萬二千ノ市町村ガ其稅率ヲ異ニシ、其免稅

點ヲ異ニスルト云フ如キ租稅ノ制度デアッテハ、是ハ補完稅タル目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思ヒマス、補完稅タル目的ヲ達スルコトガ出來ナイ以上ハ、體系ハ茲ニ紊レル、斯ウ云フ結果ニナリマスカラ、租稅ノ體系論カラ申シマスレバ、何ト致シマシテモ之ヲ國稅トシテ存置スル外ハナイ、地方ニ移スト其體系ハ紊レル、私ハ斯様ニ考ヘマス、假令地方ニ移シテ體系ガ紊レテモ、中央地方ヲ通ジテ總括的ニ體系ガ整ヘバ宜イト云フ御趣意デアリマシテモ、其結果ハ體系ガ整ハヌコトニナル、斯様ニ考ヘマシタカラ、地租委讓ニ同意シナイト云フ理由ノ一ツニ爲シタノデアリマス、今ノ御質問ノ、地租委讓ノ代リノ財源ノコトデアリマスガ、行政整理、財政整理ノ結果、日本ニアル恆久財源ガ、公債ノ發行額ヲ少カラシメテ居ル原因ニナッテ居ルト云フ說ハ、如何ニモ其通リト考ヘマス、是ハ必シモ震災善後費ニ持ッテ行ッタト云フ意味デハアリマセヌ、唯總括的ニ、ソレダケ恆久財源ガ浮イテ參リマシタカラ、總括的ニ一般會計ノ公債募集額ヲ減スコトガ出來タ、斯ウ云フコトニナリマス、サウス云フ道行ハ兎モ角モト致シマシテ、砂田君ノ御指摘ニナリマシタ通り、如何ニモ昨年財政整理ノ結果、公債發行額ヲ減ズルヤウニナッタノデアリマス、ソレハ其通リ私ハ少シモ異存ハアリマセヌ、ソコデ公債ヲ發行スルノモ、其程度

デアルガ、僅カ三千萬ヤソコノ公債ノ發行ヲ致シタ所デ、ソレニ依テ財界ニ非常ニ重大ナル所ノ影響ヲ及ボサウトモ考ヘナイ、若シソレガ重大ナル結果ヲ及ボスト云フコトデアルナラバ、私ガ先年地租營業稅ノ整理案ヲ、憲政會ヲ代表シテ主張致シタ時ニ、公債發行額ハ四億圓餘デアッタガ、何故ニ其時ニ減稅ト云フコトヲ主張セズシテ、公債發行額ノ減少ト云フコトヲ主張シナカッタカト、斯ウ云フ御質問デアッタウデアリマス、此代リ財源トシテノ公債發行額、ソレハ五千三百萬圓ト云フノト、七千四百萬圓ト云フノト、色々見解ガ別レテ居リマスケレドモ、私ハ依然トシテ七千四百萬圓ヲ要スルト考ヘテ居リマス、色々御説明ハアリマスケレドモ、其御説明エハマダ承服ガ出來マセヌ、ソレ故七千四百萬圓ト假ニ致シマスト云フト、其中私ハ、是モ同意ガ出來ヌガ、二千萬圓ノ關稅ノ增收ガ這入ッテ來ルカラ、ソレデヤル、サウシマスト差引五千四百萬圓ノ公債ヲ公募スルト、斯ウ云フ事ニナリマス、(關稅ハ四千萬圓ト呼フ者アリ)假令四千萬圓、五千萬圓ニ致シマシテモ、五千四百萬圓ニ致シマシテモ、此際ニ於ケル公債ノ公募ト云フコトハ、非常ニ私ハ宜シカラザル影響ヲ及ボスモノト考ヘマス、其影響ヲ具體的ニ示セ、事實ヲ言ヘト云フコトハ、ソレヲヤラザル今日ニ於テ、具體的ニ詳細ニ申スコトハ、是ハ

困難デアリマス、私ノ豫測スル所ニ依レバ、今日ニ於テ公債ノ非公募主義ヲ直ニ拋棄スルト云フコトハ、是ハ容易ナラザル惡影響ヲ及ボスモノト確信致シマス、我國ノ經濟界ハ、大正九年三月ノ反動カラ稍恢復ヲシ掛ケテ、大體安定ノ域ニ達シ掛ケテ居ル所ヘ、御承知ノ通りノ大震災デアル、ソレガ爲ニ二重ノ創痍ヲ被リ、其創痍頗ル深クシテ中ノ容易ニ癒エナイ、今日ハ段々官民ノ努力ニ依リマシテ、其整理ガ進捗シツツアルト云フ極テ大切ナル所ノ時期デアリマス、恰モ寧扶斯患者ノ恢復期ト同様デアリマスガ、サウ云フ際ニ於ケル政府ノ財政計畫ノ一舉一動ト云フモノハ、此財界ノ特ニ恢復ニ向ハントスル道程ニ這入ル時ニ於テ、非常ナル所ノ違ニテラウト思ヒマス、遣リ方ノ如何ニ依テ重大ナル結果ヲ及ボスデアラウト思ヒマス、今日ノ外國貿易、或ハ爲替相場、或ハ金融ノ狀況、總テノ點ニ於テ、幸ニ致シマシテ今日ノ狀況ニ於テハ、幾分カ其前ヨリモ改善ノ跡ヲ見ルニ至リマシタノハ、種々ノ原因ガアリマセウケレドモ、私ノ自ラ信ズル所ニ依リマシレバ、此公債ノ非公募主義ト云フコトガ確ニ一ツノ原因デアルト思ツテ居ルノデアリマス、此場合ニ於テ或ハ四千萬圓、或ハ五千萬圓、數千萬圓ノ公債ヲ市場ニ公募スルト云フ政策ヲ政府ガ新ニ始メルト云フコトハ、是ハ市場ノ人心ニ向ッテ甚ダ宜シクナイ影響

ヲ及ボシ、延イテ海外ニ於ケル信用ニモ相當ニ惡影響ヲ及ボスト云フコトヲ私ハ信ジテ居リマス、其具體的ノ説明ハ、今日ノ場合甚ダ困難デアリマスケレドモ、現在ノ狀況ニ於テ私ハ左様ニ信ジテ居ル、四十六議會ノ當時トハ、經濟界ノ狀況ハ大分變テ參リマシタ今日ニ於テ、其當時ノ狀況ノミヲ以テ今日ヲ律スルト云フコトハ困難カト考ヘマス、要スルニ現在ニ於テハ洵ニ大切ナル場合デアリマスカラ、此公債ノ公募ト云フコトハ今日之ヲ始メルトハ甚ダ宜シクナイト考ヘマス

○砂田委員 只今ノ大藏大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、成程大藏大臣ノ御考ガ、吾々ニ大分解ッテ來タノデアリマスガ、大藏大臣ハ現在ノ日本ノ實情ヲ、寧扶斯患者ノヤウナ風ニ御覽ニナッテ居ル、ソレデカラ絶食療法ヲ行フト云フ議論ニナルノダト思ヒマス、吾々ノ考デハ、日本ノ現在ノ國情ハ、關東ノ大震災災ニ依テ大火傷ヲ負ウテ居ルモノデアルト思フ、之ニハ絶食療法ヨリモ榮養療法ノ方ガ宜イト思フノデアリマス、此點ハ併ナガラ意見ノ岐レル所デアリマスカラ、私ハソレ以上申シマセヌガ、要スルニ只今大藏大臣ノ政友會ノ地租委員ニ反對サレタ理由ト云フモノハ、一ツモ反對スベキ議論ノ基礎ト云フモノガ無イト云フコトニ歸著スルト思フ(ソノウ(一)ソコデ是カラ本當ノ私ノ質問ニ這入ル、過日本會ニ於テ質問致シマシタ際ニ、詳シクハ委員會ニ於テ大臣ガ答辯スルト云フコトデアリマシタノデ、即チ今回ノ此稅制整理ヲ通ジマシテ、私ハ體系デアルトカ、理論デアルト云フモノヲ超越シテ、此稅制ノ整理ガ、國民ノ實生活ノ上ニドウ云フ風ニ影響ガアルカ、此點ヲ本會議ニ於テモ伺ッタノデアリマス、政府ニ於テハ、最後ニ大藏大臣ハ庶民階級ニ對シテ負擔ヲ重クシテ、或ル一部ノ階級ニ負擔ヲ輕クスルト云フ結果ニナルコトハ斷ジテ認メナイト云フコトヲ仰セラレテ居ルノデアリマス、吾々ノ見マスル數字ト、統計上ノ根據ニ依テ見マスルト、實際ノ實情ハ、今回ノ稅制ノ整理ヲ通ジテ見スルト、先日三土君ノ言ハレマシタ如ク、或ル中產階級ノ最低ノ部分ニ對シテ負擔ヲ輕クシテ、其輕クシタ部分ハ國民全體ニ賦課サレルノデアアル、其結果ハ中產階級以下ノ庶民階級ニ對シテ非常ニ負擔ガ重クナル、斯様ニ質問ヲシタノデアリマス、サウ云フ事實ハ、斷ジテ無イト大藏大臣ハ言ハレタノデアリマスルガ、是ハ稅制ノ整理ヲセラレマスル當時ニ、此點ニ對シテハ實際ノ整理ノ結果ガ、庶民階級、細民階級ニ響クカト云フコトハ、大藏大臣ハ統計上何カノ基礎ニ據テ居ラレルノデアリマスガ、サウ云フコトハ無イデアラウ、例ヘバ織物消費稅ハ皆細民ガ負擔スルノデアアル、或ハ通行稅モ大部分ハ細民ガ負擔スル、ソレヲ廢減スレバ、酒煙草ノ

值段ヲ上ゲテモ細民ノ負擔ハ重クナラヌト云フ大難駁ナ御話デア、何カノ統計ヲ御調ニナツテ増稅ニナラヌト云フ基礎ガアルカ、是ハ大臣デナクテモ宜シイ、若シサウ云フ基礎ガアルナラバ、一應御答ヲ願ヒタイ

○濱口國務大臣 只今ノ御質問ハ、モウ少シ出來得ルナラバ具體的ニ一ツ御質問ヲ願ヒタイと思ヒマス、甚ダ漠然トシテ居ッテ答辯ニ困リマス

○砂田委員 餘程ハッキリシタ積リデ居ッタノデアリマスルガ、大臣ガ非常ニ御疲レノヤウデゴザイマスカラ、モウ少シ詳シク申上ゲマス、先達本會議ニ於テ質問ヲ致シタ通り、今回ノ此稅制整理ノ結果ハ、所得稅ヲ納ムル者、營業稅ヲ納ムル者、地租ヲ納ムル者ノ中ニ於テ、最モ其下級ニ屬スル人々ニ、社會政策的ニ減稅ヲ行ウタ金高ガ現レテ居リマス、ソレト同様ノ人ニ對シテ負擔ヲ負ハスモノガ、今回ノ資本利子稅ト、相續稅ノ値上デアリマス、ソレカラ一般民衆のニ行ハレタ減稅ハ、織物消費稅ノ免稅、通行稅ノ廢止、賣藥印紙稅ノ廢止、醬油稅ノ廢止、是ダケノ數字、之ニ代ルベキ政府ガ財源トシテ増稅ヲサレ、若ハ新稅ヲ起サレルモノガ煙草ノ値上、ソレカラ酒ノ増稅、ソレカラ清涼飲料稅ノ新設、此數字ノ計算ヲ致シマスルト、此方ガ多クナツテ居ル、是ハ明カデアリマス、是ハ此間三土君カラモ質問シタ點デ御分リニナツテ居ルト思

ヒマス、サウシテ其結果ガ、地租ヲ納メ、營業稅ヲ納メ、所得稅ヲ納ムルカノ無イ者以下ノ下級民ニマデ、増稅ノ結果ヲ齎シテ居ル、此事實ヲ御認ニナルカト言ウタ時ニ、ソレハ斷ジテ認メナイト言ハレタ、サウスレバ其以下ノ人ニ對シテハ増稅ニナラヌト云フコトガ、ドウ云フ程度デモ宜シウゴザイマスカラ、何カ統計上ノ基礎ニ據ッテ、サウ云フコトニハナラヌト云フ基礎ガアルノデアリマス、唯ナラヌデアラウト想像シテ居ルト、斯ウ云フ御意見デアリマスルカ、何カ統計上ノ説明ガアリマス、非常ニハッキリシテ來マスカラ、ソレヲ承リタイと思フノデアリマ

ス

○濱口國務大臣 社會政策ヲ以テ政府ガ實行ヲ致シマシタ此稅制整理、社會政策的ノ效果ヲ舉ゲンガ爲ニ減免稅ヲ行ヒマシタ其數字、七千百萬餘圓ニナツテ居ル、一面ニ於テハ稅制整理ニ依ル所ノ歲入ノ減少ヲ補填スルガ爲ニ行ハレマシタル消費稅ノ増加、即チ酒、煙草ト、清涼飲料、其金額ガ約六千萬圓、其差引千百萬餘圓ト云フモノハ、即チ社會政策的ニ申セバ減稅ヲセラレタト云フコトニナツテ居ル、其他ノ點ニ於ケル所ノ増減稅ハ無論アリマスケレドモ、是ハ各他ノ目的ノ爲ニヤッタコトニナツテ居ル、社會政策的ニ言ヘバ、七千餘萬圓ノ減稅ニナル、ソレヲ補填センガ爲ニヤッタモノガ、酒ト、煙草ト、清涼飲

料、是ガ六千餘萬圓デアリマスカラ、差引千百萬圓減少シタト申上ゲマシタ、數字ハ其時ニ申上ゲマシタ通りデアリマス、ソコデ其時ニモ問答ノアリマシタ如クニ、政府ノ見所ニ依レバ、無論是ハ例外ハアリマスケレドモ、大體ト致シマシテ綿織物ハ、是ハ主トシテ無產階級ノ消費スルモノ、ソレカラ賣藥ハ、主トシテ無產階級ノ消費スルモノ、醬油ハ無論、是ハ國民一般ニ、殆ド分等的ニ消費スルモノデアリマス、通行稅、是亦主トシテ中產階級以下ノ負擔スルモノデアリマス、ソレヲ減免稅ヲ致シテ、其代リ起シタ所ノ酒、煙草、是ハ本會議ニ於テモ確カ申シタト記憶ヲ致シテ居リマスガ、或ハ此席デアリマシタカ能ク記憶致シマセスケレドモ、是ハ必シモ主トシテ無產階級ノ消費スルモノデアハナイト考ヘテ居ル、無產階級デアッテモ、中產階級デアッテモ、是ハ等シク消費スルモノデアルカラ、其酒、煙草ノ値上ガ——増率若ハ値上ガ相當ニ多カッタト云フ理由ヲ以テ、必シモ無產階級ノ負擔ヲ増シタト云フ理由ニハナラヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ、今日デモソレト同様ノ考ヲ持ッテ居リマスガ、若シ砂田君ニシテ、事實ハサウナツテ居ナイ、無產階級ノ負擔ガ重クナツテ居ルト云フコトヲ數字ヲ舉ゲテ御質問ガアリマスカラ、又ソレニ應ジテ相當ノ御答ヲ致シマス

○砂田委員 私ハ質問ヲ簡約スル爲ニ、大藏大臣ガ明瞭ニ、無產者ニ對シテ増稅ニナラヌト云フダケノ確信ガアツテ過目御答ニナツタモノト信ジ、大藏大臣ニ對シテ其御答ヲ願ウタガ、ソレニ御答ハナクシテ、私ノ方ニ數字ヲ示セト云フ只今ノ御答辯デアリマシタ、私ハ是カラ甚ダ細カクナリマスルガ、政府ノ統計ヲ基礎トシテ伺ッテ見タイと思ヒマス、即チ今回ノ稅制整理ノ結果ガ、ドウ云フ風ニ無產者ニ響クカト云フコトニ付テハ、內務省ノ社會局ノ統計ト、農林省ノ農務局ノ小作人ニ對スル統計トヲ基礎トシテ見ルノガ一番明瞭デアラウト思フ、大藏大臣ハ、織物消費稅デアルトカ、或ハ通行稅デアル、斯ウ云フモノハ大部分ハ細民ニ響キ、賣藥印紙稅ノ如キハ、殆ド細民ガ全部服ムモノデアル、斯ウ云フヤウナ大摺ミナ御話デアリマスルガ、之ヲ大正十二年ニ出來マシタ社會局ノ健康保險、之ノ日本ノ職工生計狀態調查表ニ依テ見マス、又更ニソレニ附加ヘマシテ、大正十五年ノ豫算ノ中ニ出テ居リマスル今年度豫算ノ健康保險ノ歲入豫定表ガゴザイマス、此歲入豫定表ニ健康保險料ト云フモノガ定メタル、其健康保險ハ、健康保險法ノ七十四條ニ依テ、收入ノ百分ノ三ヲ超エルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ル、此政府ノ豫算表ニ據ル保險料ヲ基礎トシテ算出ヲ致シマスルト、勞働者ノ平均收入ハ五十四圓乃至五十五圓二十錢ニナルノデア

リマス、是ハ一箇月デアリマス、ソコデ之ヲ土臺ニ置テ、此内務省ノ職工生計狀態調査表ニ依テ見マスルト、五人ガ一家ヲ族成シテ居ル、平均ノ職工ノ被服費ハ一箇月ニ三圓七十七錢デアリマス、保健衛生ガ三圓八十六錢、交通通信費ガ八十六錢、調味料ガ四圓九十錢アル、此中ニ醬油ガ入ッテ居ル、嗜好品ハ酒ハ一ヶ月五圓七十六錢、煙草ハ一ヶ月ニ二圓八十四錢、斯ウ云フ數字ガ出テ居ルノデアリマス、ソコデ之ニ對スル課税ノ結果ガドウナルカト云フコトヲ、此内務省ノ統計表ヲ基礎トシテ調査致シマスルト、被服費ノ三圓七十七錢、是ハ小賣デ買受ケル直段デアリマスカラ、之ニ五ヲ乗ケタ減ガ一圓八十八錢五厘ノ一割ガ税金デアルカラ、十八錢八厘、ソレカラ保健衛生費ノ三圓八十六錢、此中ニハ髪ヲツム費用モ入ッテ居レバ、風呂ニ入ル費用モ入ッテ居リマス、是等ヲ除イテ假ニ半分賣藥ヲ飲ムトシテ、一圓九十三錢、ソレカラ交通通信費ノ八十六錢ノ中、假ニ六錢ヲ通信費ニ充テテ、之ニ對シテ十錢、調味料ノ醬油ガ一人ガ一ヶ年ニ五升飲ムモノトシテ、之ガ三十六錢、此合計ガ五十一錢七厘ノ減税ニナルノデアリマス、ソレニ對シテ酒ノ五圓七十六錢ヲ六升四合ニ換算致シマス、其増税ガ四十四錢八厘ノ二割ノ値上ガ六十八錢七厘、合計一圓十六錢ノ増税デアリマス、之ヲ差引キ致シマス、一ヶ年ニ六圓ノ増税ニナ

ル、其上ニ清涼飲料税ガ新ニ設ケラルルノデアアル、之ヲ四ヶ月間一軒五人ノ家ニ居ッテ一日ニ一本ヅツ飲ムモノトシテ、七十錢ノ増税、一ヶ月ニ平均五十一圓乃至五十四圓ノ生活ヲスル人間ヲ基礎トシタル、是等ノ細民ニ對スル今回ノ税制整理ノ結果ガ、六圓七十錢ノ増税ニナルコトガ數字ノ上ニ明瞭ニナルノデアリマス、更ニ農家ノ小作人ガ如何ニ在ルカ、是モ農商務省ノ農務局ノ大正十四年六月ニ出來マシタ農家經濟調査會、之ヲ土臺トシテノ生計表ニ依ル統計表ニ依ッテ見マス、一世帶五人ガ平均ニナッテ居ル、五人平均ノ被服費ガ小作人ニ於テ一戸ニ付テ是ハ一年ノ計算デアリマス、六十七圓七十七錢二厘、保健衛生費ガ十三圓六十二錢八厘、醬油ハ此労働者ト同ジコトニ一人五升、ソレデ減税ガドノ位ニナルカ、被服費ニ於テ減税ニナルノガ一ヶ年ニ三圓三十八錢八厘、保健衛生費ノ中ノ賣藥ヲ半額ト見テ六十七錢三厘、醬油ガ五人平均デ四十三錢五厘、減税ヲ受ケル、増額ガ四圓九十九錢六厘、ソレニ煙草ノ平均ガ朝日一袋喫ムモノト見マスルト十圓九十五錢ノ増税ニナル、若シ之ガ「ハギ」ノ五匁一袋喫ムモノトシテ七圓三十錢ノ増税ニナル、酒ガ好キダト見テ平均ヲ致スト一軒ノ家ガ五升ニナル、ソレデ三十五錢ノ増税、此上ニ以テ行ッテ又今回——後ニ段々質問致シマスガ、地方税ニ家屋税ト云フモノヲ

新設スル——戸數割ノ制度ヲ止メテ家屋税ニスル結果ハ、小作者ニ對シテ少クトモ一人ニ對シテ二圓ノ増税ニナル、之ヲ合セルト十三圓三十錢ノ増税差引キ八圓六十錢四厘ノ増税ニナリマス、是ハ昨年ノ六月ニ農商務省デ出來タ所謂小作人ノ生計ノ實狀ヲ統計ニ取ツタ基礎デアリマス、一方ハ大正十二年ノ七月ニ出來タ社會局ノ保健ノ統計、是ハ十二年以後ハマダ出來テ居ラス、出來テ居ラヌガ、少クトモ現政府ノ各省ニ於テ調ベタ生計ノ實狀ガ斯様ニナッテ居ルノヲ見マス、先日來大藏大臣ノ言ハルル織物消費税モ、賣藥税モ、悉ク細民ガ負擔シテ居ル、金持ノ負擔スルモノデナイ、是等ヲ減ジタナラバ煙草ノ値上ヲシテモ細民ノ増税ニナラヌト云フコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、此政府ノ統計ニ誤リガアルカ、私ノ算盤ノ出シ方ニ誤リガアルカ、若クハ大藏大臣ノ御主張ニ誤リガアルカ、此點ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○黑田政府委員 唯今砂田君カラシテ數字ヲ擧ゲテ詳細ナ御質問ガアッタノデアリマスガ、御質問ニ付キマシテハ此方ニモ調査ヲ致シテ居リマス數字ガアリマスカラ、尙ホ御述ベニナリマシタコトヲ參考致シマシテ、十分ニ取調ルコトニ致シタイト思ヒマス、併ナガラ唯御質問ノ増税ニナルト云フコトノ根抵ガ吾々ノ考トハ非常ニ違ッテ居ル、根本ニ於テ違ッテ居ルノデアリマスカラ、其點ヲ申上ゲテ置カナケレバナラスノデアリマス、吾々ハ只今或ハ綿織物ノ消費税、或ハ醬油税消費税、或ハ通行税等ノ廢止ノ金額ヲ御述ベニナリマシテ、ソレト酒、煙草ノ増シタ金額ト御比較ニナッテ、負擔ヲ増加シテ居ルト云フ御話デアリマス、是ハ場合ニ依リマシテハ或ハ増加スルコトモ勿論アラウト思ヒマス、併ナガラ酒ト煙草ハ屢大藏大臣ノ御述ベニナリマシタ通り、是ハ別個ニ見テ居ルノデアリマス、例ヘバ通行税ニ付キマシテモ通行税ノ殆ド九割八分ノ大部分ハ三等若クハ電車ノ乘客デアリマシテ、毎日一錢ノ通行税ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、綿織物ニ致シマシテモ課税價格デアリマスカラ多少違ヒマスガ、課税價格一圓以下ト致シマシテモ、九割四五分ト云フモノハ一圓以下ノ綿織物ニナッテ居リマス、是等ハ中産階級以下ノ者ノ大部分負擔ニナルノデアリマスカラ、ソレ等ノモノガ減ゼラレルト云フコトハ、生活ノ必要品ニ對シテ即チ必要ナル生活費ニ對シマシテ非常ナ輕減ニナルト云フ風ニ大體ニ於テ考ヘテ居ルノデアリマス

○砂田委員 ドウカ統計ノ基礎トシテ下級ノ細民ガ増税ニナラヌト云フコトヲ明瞭ニ御説明願ヒマセスト、大藏大臣ガ本會ニ於テ御述ベニナッタコトト矛盾シテシマヒマスカラ、統計ノ誤リ

カドウカト云フコトヲハキリト願ヒタイ、私ノ質問ニ對シテ生活必需品ニ減稅ヲシテ、嗜好品ニ増稅ヲシタ、ソレハ能ク承知シテ居リマスカラ、繰返シテ言フテ戴ク必要ガナイ、ソレデモウツ進ンデ私ハ伺ヒタイノデアリマス、此事モ本會議デ質問ヲシタノデアリマスガ、ドウシテモ分ラナカタ、即チ今回引括メテ七百七十萬圓ノ減稅ヲシテ、六千萬圓ノ増稅ヲスルノデアツテ、差引千萬圓減稅ヲスル、之ガ社會政策的ノ效果顯著ナモノダト云フコトヲ繰返シテ述ベラレテ居ル、ソコデ私ノ質問ニ對シテ大藏大臣ハ煙草ノ値上ト云フモノハ、左程ニ私ノ考ヘル如ク一年ニ四千八百萬圓モ國民ノ負擔ヲ重クスルモノデナイ、ソレハナゼサウナラヌカト云フト、消費ガ減少スル、値上ヲスルト消費ガ減少スルモノデアルガ、此消費ノ減少スルト云フコトハ誠ニ己ムヲ得ナイ事デアリマス、ソコデ減少シテ、其殘ツタ即チ消費スルモノニ對シテ此度ノ増稅ニ依テ幾ラ政府ノ收入ガ増スカ、此殘ツタ消費量ニ對シテ幾ラ收入ガ増スカト云フコトヲ土臺ニシナケレバ理窟ガ立タヌ、ソレガ二千二百萬ト出サレタ、其證據ニハ第一口附ニ於テ一割、兩切ニ於テ一割二分五厘、刻ミニ於テ五分ト見テ、其趣意カラ二千二百萬圓ヲ出サレタ、ソコデ大藏大臣ノ御演說ノ通りノ意味ヲ以テ茲ニ大藏省カラ統計表ヲ頂戴シタノデアリマス、即

チ平年大正十五年ハ——是モ後ニ伺ヒマスガ、大正十五年ハ暫ク措キマシテ、平年ハ是カラ先キ消費ガドノ位減ルカ、ドノ位政府ガ賣上ヲスルカ、其賣上ヲスル總數量ニ對シテ今回値上ニナツタ減額ダケヲ乗ケタモノガ即チ國民ノ負擔ガ重クナルノデ、ソレダカラ賣拂總數ニ値上金ヲ乘ジタル總金額ガ平年度ニ於テドウナルカト云フ統計表ヲ頂イタ、其統計表ニ依テ見マス、口附煙草ガ二千六百六十八萬九千圓、ソレカラ兩切ニ於テ八百六十九萬六千圓、刻煙草ニ於テ千三百八十萬八千圓、其他葉卷煙草ノ總計ガ三萬六千圓、輸入煙草ニ對シテハ五十萬四千圓、總計値上ニ依ル差額ガ四千九百七十三萬六千圓、是ダケノモノガ大藏大臣ノ御演說ノ通りニ增收ニナル譯デアリマスガ、是デモ國民ノ負擔ハ矢張二千二百萬圓デアリマス、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○濱口國務大臣 一寸委員長ニ御相談致シマス、專賣局長官ハ政府委員デハアリマセヌガ、説明員トシテ呼ンデ置キマシタカラ、詳細ノ點ニ至ッテハ説明員カラ御答スルヤウニ御了解ヲ得テ置キマス、大體ヲ私カラ申上ゲマス、宜シウゴザイマス

○元田委員長 是ハ諸ラナケレバナリマセヌ、多分宜カラウト思ヒマスガ、大體御述ベニナッタ後ニ願ヒマス

○濱口國務大臣 私カラ大體御答致シ

マス、只今御質問ノ要旨ハ、斯ウ云フ御計算ヲナサツテ居ル、大正十七年度ニ於テ賣渡スベキ所ノ各種類ノ煙草ノ數量ト云フモノヲ御計算ニナツテ、口附ガ幾ラ、兩切ガ幾ラ、刻ガ幾ラ、葉卷ガ幾ラ、輸入煙草ガ幾ラト云フコトヲ御計算ニナリマシテ、其計算サレタ所ノ各種煙草ノ數量ニ對シテ、此度値上ヲ行ッタ所ノ其金額ノ歩合ニ乘ジタモノヲ以テ消費者ノ負擔ガ殖エタモノト御計算ナサル、四千九百何十萬ト云フ數字ヲ舉ゲラレテ、之ヲ政府ガ認メルカト云フ御質問デアリマス、只今承ッテ居リマス、其御計算ノ仕方ハ確ニ間違ッテ居ルト思フ、十七年度ニ於テ賣渡スベキ所ノ各種類ノ煙草ノ數量ト云フモノハ如何ナル數量デアルカ、ソレハ此度政府ガ煙草ノ値上ヲ行ヒマシタ結果トシテ消費ヲ減ズルモノヲ引イタ數量デアリマス、即チ新定價ノ下ニ於テ賣行クベキ數量デアリマス、若シ値上ヲヤラナカツタナラバサウ云フ少イ數字ハ出マセヌ、即チ現在ノ數量ガ出マス、値上ヲヤリマシテ相當ノ消費減ヲ見込ンデ書イタモノガ十七年度ニ於ケル數量デ、ソレハ只今御述ベニナリマシタ通りノ數量デアリマス、ソレ故ニ値上ノ結果トシテ國民ノ負擔ガドレダケ増スカト云フコトヲ計算スルニハ、舊定價ノ場合ニ於ケル舊數量、現在ノ數量、ソレヲ舊定價ニ乘ケテ出タ所ノモノガ賣渡代金ガ出マス、ソレト値上ヲヤッタ爲ニ消

費ガ減ズル、其減ジタ數量ニ新定價ヲ御乘ケニナツテ兩方ノ數字ヲ比較シタモノヲ持ッテ來ナケレバ、國民ノ負擔ハ出マセヌ、値上ヲヤッタ結果減ツタ數量ニ持ッテ行ッテ舊定價ヲ乘ケテモ出マセヌ、出タ數字ハ無意味ノ數字デス、殊ニ減ラヌモノニ舊定價ヲ乘ケ、減ツタモノニ新定價ヲ乘ケ、其差額ヲ以テ負擔ノ増加トナサル外ハナイト思ヒマス、只今ノ御計算ハ私ハ少シ間違ッテ居リハセヌカト思ヒマス

○元田委員長 一寸御諮リ致シマス、專賣局長官ガ精シイ人デアリマス、只今御質問ノ數字ヤ何カニ付テ精シイ方デアリマスカラ、政府委員ニハ任命シテナイガ、參考トシテ長官カラ聽イテ貰ヒタイト云フ政府ノ希望デアリマス、私ハ先例ガ有ルト思ヒマスカラ、皆サン御差支ガナケレバ、成タケ事實ヲ明ニスルニハ之ヲ許シタ方ガ相當デアラウト考ヘマス

〔「異議ナシト」呼フ者アリ〕

○元田委員長 御異存ガナケレバ長官ノ答モアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○砂田委員 只今ノ大藏大臣ノ御答辯ハ、大正十七年マデ値上ヲシナイ儘デ置イテ、自然ニ煙草ノ賣上ガ非常ニ多クナル、其多クナルモノヲ基礎トシテソレト此賣拂數量ノ差額トヲ勘定シナケレバ國民ノ負擔ガ出テ來ナイト言ハレル、私ノ質問セントスル所ハ國民ノ負

擔ヲ聽イテ居ラス、國民ノ負擔ハ幾ラ重クナルカト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、隨テ自然増收ヲ見込シテ、自然ニ増加スル數量ヲ見込シテ、其差額デ現在ノ定價ノ儘ニ置イタナラバ幾ラ收入ニナルカ、其收入ト今度減タモノトノ差引勘定ヲシテ、サウシテ、國民ノ負擔ガ幾ラ掛ルト云フ數字ヲ現ハサウト云フコトハ非常ナ間違デア

負擔ノ増加デアアル、葉卷煙草ハ餘計違ヒマセヌガ、是モ約十萬一千圓、ソレカラ刻煙草ガ是モ數量ハ約三割二分減ッテ居リマス、即チ二十萬八千貫減ッテ居リマス、ソレデ其今度ノ賣上ニ對シテ値上ニナッタ金高ヲ乗ケテ見ルト八百二十二萬七千圓デアアル、其外細カインハ略シマスガ、即チ差引十四年度ノ値上前十十五年度ノ値上ニナッタノダケ比較スルト三千三百四十二萬圓ノ國民負擔増加ニナッテ居ルデハアリマセヌカ、ドウシテモ二千二百萬圓増稅ニナッテ居ラヌト云フコトガアルナラバ、此豫算表ニ付テ一ツ御答ヲ願ヒタイ、サウスルト一番ハッキリ分リマスガ

○濱口國務大臣 ソレハ斯ウ云フコトデアリマス、煙草ニ限リマセヌガ、總テ此度ノ稅制整理ニ於テ屢説明ヲ申上ゲル通り、平年度ニ於テ幾ラノ減ニナル、幾ラノ増ニナルト言フタ、其式デ何年度ニ對シテ幾ラ増ニナルカ、幾ラ減ニナルカト云フコトヲ申上ゲレバ直グ分リマスガ、是ハ十五年度ニ於テ何等ノ整理ナカリシ場合ニ於テハ、是ダケ取レルベキデアルト云フ數字ヲ先ヅ計算致シマシテ、營業稅ニ致シマシテモ、酒ニ致シマシテモ、煙草ニ致シマシテモ、同様デアリマスガ、若シ現在ノ制度ノ儘デ行ッテ何等ノ稅制整理ガナカッタナラバ、大正十五年度ニ於テハ是ダケ收入ガアルト云フ金額ヲ基礎ニ致シマシテ、ソレニ對シテ増稅ヲヤッタ幾ラ殖

疑ニナッタガ如キコトヲ生ズルコトハアリマセヌ
○砂田委員 私ハ政府ノ増收ヲ聽イテ居ルノデハナイノデアリマス、國民ノ負擔ヲ聽イテ居ルノデアリマス、之ヲ御答ヲ願ヘバ宜イノデアリマス、政府ノ増稅ヲ聽ク必要ハアリマセヌ、國民ノ負擔ガ幾ラ増スカト云フコトダケヲ御答ヲ願ヘバ宜シイ、増稅スレバ兎モ角モ是ダケ殖エルト云フコトニナレバ、平年度ニモ十五年度ニモ國民ノ負擔ガ増スノハ値上ヲシタカラ増スニ違ヒナイ、ソレカラ數島ガ朝日ニ變ッタルソレダケ國民ガ惡イモノヲ吸フノデアアルカラ、ソレモ勘定ニ入レテ國民ノ負擔ガ幾ラ減ルト云フコトヲ計算スベキモノデハナイカト思フ、是ハ分リ切ッタ議論デアリマス、負擔ノコトヲ聽クノデ、收入ノコトヲ聽クノデハナイ、之ヲ明確ニ御答ヲ願ヒタイ

口附紙卷煙草、是デ消費ノ減少ガ四十一億七千四百萬本、此賣上數量ガ一億二千四百萬本、併ナガラ千本ニ付テノ單價ガ出テ居リマシテ、此單價ヲ、前ノ値上シナイ時ノ單價ト相對照シテ、是ダケ十五年度ノ國民ノ負擔ガ幾ラ増加シテ居ルカト云フコトヲ見ルト一番ハッキリ分ル、値上前十日今日ト比較スル、即チソレカラ國民ノ負擔ヲ増スノガ千七百八十四萬一千圓、兩切、卷煙草ハ今ヨリ五分殖エテ居ル、即チ消費ノ増ガ十二億八千萬本之ニ對シテ此値上ノ結果七百二十六萬九千圓ノ

○濱口國務大臣 砂田君ハ斯様ニ考ヘラレテ居ルトシマスレバ、私ト考ヘ方ガ大分違フノデアリマス、煙草ノ値上ヲヤッタ爲ニ一割以上減ッタルハ何ガ爲メ減ッタルカ、其減ッタル云フコトガ國民負擔ノ増加カラデアアル、其減ジタ數量ヲ以テ行ッテ煙草ノ定價ヲ乘ケテ、是ダケ兎ニ角減ッタルカラ、此消費減ト云フモノハ一方ニ於テハ是ガ國民負擔ノ増加デアアル、右ノ負擔ト云フモノヲ金額ニ計算ヲ致シテ、ソレヲ國民ノ負擔デアルト計算ニナッテ居ルナラバ、政府ノ計

然増收ハ見テアリマセヌカラ、只今御

然増收ハ見テアリマセヌカラ、只今御

算ノ仕方トハ全ク違ヒマス、若シサウデアレバ……

○砂田委員 大藏大臣ニ私ノ言フコトガ徹底セヌヤウデアリマスガ、私ノ言フノハサウデハアリマセヌ、減ジタ數量ダケ負擔ヲ掛ケルト云フノデハアリマセヌ、減ジタ所ノモノニ對シテ其賣上ゲルモノノ値上ニナッタ金高ダケハ國民ノ負擔ガ重クナッテ居ルノデハアリマセヌカ、ハッキリシテ居ルト思フ、此位分リ易イ理窟ハナイト思ヒマス、唯政府ノ收入ト云フ方カラ行ケバ平年度ノ收入ヲ見テ、其平年度ヨリ殖エルダケノ數量ヲ出スコトガ本當デアリマセウ、收入ヲ出ス上カラ云ヘバ、併シ國民ノ負擔ト云フ上カラ行ケバ安イ物ガ高クナッテ、高イ物ヲ——ドノ品物ヲ買フニシテモ高クナッテ、高クナッタ物ヲ買フヤウニナレバ、ソレダケ負擔ガ重クナル、是ハ明瞭デアルト私ハ思ヒマスガ、ドウモ私ノ頭ガ惡イノカ、大藏大臣ノ頭ガ惡イノデアリマセウカ

○濱口國務大臣 能ク分リマシタ、茲ニ一日ニ敷島ヲ一箱喫ム者ガアルト假定スル、其敷島ガ十五錢カラ十八錢ニ上ツタ、二割上ツタ、ソコデ敷島ヲ一箱喫ム人ハ三錢上ツタ、消費ガ減ズルコトハ眼中ニ置カズニ、其人ノ消費スル一日ノ數量ヲ確定シ、其ノモノトシテ、敷島一箱吸ヘバ二割上ツタカラ、其人ノ負擔ハ二割上ツタト云フコトハ當然デアルト思ヒマス、若シサウデアルナラバ政府

ノ考トハ違ヒマス、値上ヲヤッタ爲ニ一箱喫ンデ居ッタ人ガ一日ニ半箱デ濟マシ、或ハ三分ノ二デ濟マス、ソレガ即チ消費ノ減少デアリマス、敷島ヲ喫ムノガ高クナッタカラ朝日ニ移ッタ、ソレダケ負擔ガ減ジマス、刻ミニ移レバソレダケ減ズルト云フコトニナル、是ハ一人々々ニ付テデナク、國民ノ全體ニ付テ負擔ノ増減ヲ論ズベキモノデアルト思ヒマス、必ズシモ一箱喫マナケレバナラヌト決ッタモノデハアリマセヌ、決メテ論ズルカラ今ノヤウナ疑ガ生ズルノデアリマス

○砂田委員 マダ御分リニナラヌヤウデアリマス

○元田委員長 ドウモ甚ダ——病氣モアリマスルガ、委員長モチットモ分ラナイノデアリマスガ、御尋ニナルコトモ分リマセヌガ、御答ニナルコトモ分リマセヌ、前ノヤウナ表ニ依テ御作リニナッテ、五十圓デ生活シテ居ル者ハ食料ガ何ボ、衣服ガ何ボト云フコトデ、コチラデ假ニ政府ノ調ベト合セテ見マシテ相違ナイト云フコトニナッタナラバ、増シタモノガ多イカ、減ジタ者ガ多イカト云フコトハ明瞭ニハナリマスマイカ

○砂田委員 表ニスルモノトハ違ヒマス、只今大藏大臣ガ敷島ノ例ヲ御引キニナリマシタカラ、斯ウ云フ風ニ御考ヲ願フト一番能ク分リマス、敷島ヲ一年ニ百喫ンダ人ガアル、百五十喫ンデ居ル人ガ百ニ減ッタトスル、其減ッタ百

ニ對シテ矢張三錢宛値上ニナッテ居レバ、國民ノ負擔ハソレダケ殖エルノデセウ、是ハ分ッテ居ル、三錢殖エルニ違ヒハナイ、三錢宛ハ増ス、十五錢ノモノガ十八錢ニナレバ三錢宛殖エルノデス、私ノ言フノハ其百ニ減ッテモ百ニ減ッタモノニ對シテ三錢宛殖エレバ、ソレダケ負擔ガ重クナルト云フノデ、其事實ハ御認メニナルト思フ、ソレダケデ宜イ、百五十喫ムノヲ百ニ減ッタカラ、ソレヲ比較スルト百五十ノ算盤ヲ以テ百トノ差ハ是ダケシカ違ハナイト云フ議論ハ聽ク必要ハナイ、百ノ負擔ニ對スル値上リハ矢張國民ノ負擔ニナルノダト云フ、ソレガ分レバ宜イノデス、委員長モ是ナラバ御分リニナルデセウ

○濱口國務大臣 百五十喫ンデ居ル人ガ百ニ減ル、何故ニ百ニ減ルカ、値上ニナッタカラ百ニ減ル、百五十ニ對シテ十五錢ヲ乗ケタモノト、百ニ對シテ十八錢ヲ乗ケタモノガ即チ國民ノ負擔デアリマス

○砂田委員 ソレナラバ大藏省ノ御考ハ非常ナ間違デアアル、サウ云フ勘定ヲシテ行クト自然ニ增收ニナル——國民ノ消費量ガ殖エル筈ヲ、煙草ノ値上ヲシタ爲ニ消費量ガ減ッタ、減ラシテヤッタダケハ負擔ガ輕クナッタ、斯ウ云フ御議論ニナラナケレバナラヌ、假令數量ガ減ッテモ、減ッタモノニ對シテ消費スル者ニドレダケ負擔ガ重クナルカト云

フコトガ分レバ、是デ明瞭ニナルト思フ、ソコマデ分レバ大藏大臣モ腹ノ底デハ御分リニナッテ居ルト思フ、此以上私ハ追窮致シマセヌガ、ソコデモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、過日モ大藏大臣ガ——是ハ甚ダ細カイトニナリマスガ細民ニ取ッテ重大ナル關係ガアルト思ヒマスカラ、モウ一ツ伺ッテ置キタイ、刻煙草ニ付テハ非常ニ社會的ノ意味ヲ加味シテヤッテ居ルガ、數字ノ上ニ於テ已ムコトヲ得ズアア云フ數字ガ出タノダト、斯ウ云フコトヲ仰セラレタ、所ガ專賣局カラ統計表ヲ頂戴シマス、刻煙草ニ付テハ種類ニ付テ——各目方ノ入物ニ付テ勘定シテナイ、勘定シテナクラドウ書イテナルカ、刻煙草ハ値上計畫ニ於テモ、豫算ニ於テモ、總テ一貫勿當リノ單價ニ依テ算出シタルヲ以テ、其内容ハ細カクハ書ケナイト書イテ居ル、ソコデ一貫勿ヲ見當ニシテ御計算ニナッタノダカラ、細イ計算ガ出來テ居ラヌ、其結果ハドウナッタカ、過日私ノ伺ッタ同ジ種類ノモノ、五匁ノモノト、四十匁ノモノトハ非常ニ値段ガ違フ、ソレヲ質問シタ所ガ、ソレハ數字ノ關係上已ムヲ得ヌト言ハレタ、ソレガドウ云フ結果ニナッテ居ルカト云フト、例ヘバ一番惡イ煙草ノ「ナデシコ」ト云フ煙草ハ四十匁入ハ一貫八圓デアアルガ、五匁入ハ十圓、ソレカラ「ハギ」ト云フモノハ四十匁入ハ十一圓二十五錢、五匁入ハ十五圓、同ジ品物ニ對シテ斯

様ニ細民ノ喫ム細カイモノニ對シテ特
別ニ値段ヲ高クサレテ居ル、是ガ社會
政策ヲ加味シテ御研究ニナツタ結果デ
アルト云フコトハ、ドウモ私共ニハ分
ラナイ、總テ是ハ細カク言ヘバ全部ア
リマスガ、全部申シマセヌ、ソレデ其結
果ハドウ云フ風ナ結果ニナツテ居ルカ
ト云フト、更ニオカシイノハ、五匁入ハ
四十匁入ト比較シマスレバ、丁度四十
匁入ハ五匁入ノ八倍ニナル譯デアル、
例ヘバ今申上ゲタ「ナデシコ」デ言ッテ
見レバ、「ナデシコ」ノ五匁ハ五錢、五匁
ノ八倍ノ四十匁ガ五八ノ四十錢ニナラ
ナケレバナラヌノガ三十二錢、「ハギ」
ハ五匁入ガ七錢、是ノ四十匁入ハ其八
倍ノ七八、五十六錢ニナラナケレバナ
ラヌノガ四十五錢、成程前カラ多少サ
ウ云フ開キガアツタ、ソレヲ今度モ其例
ニ倣ッタト云フコトヲ仰セラレルノデ
アルケレドモ、ソレハ理窟ニナラス、若
シサウ云フコトデ今迄ノ例ニ倣ッタト
云フコトニナレバ非常ナ間違ガアル、
即チ今迄ノ開キヨリモ大キナ開キガ出
來テ來タ、即チ今迄ハ例ヘバ此「ナデ
シコ」ニ付テ申シテ見マスルト、今迄ハ
五匁入ト四十匁入トノ開キハ五厘デア
ル、所ガ今度ハ五匁入ト四十匁入トノ開
キハ一錢ニナツタ、斯ウ云フ亂暴ナコト
デ社會政策ト言ハレルカ、ソレデモ値
段ノ上ゲヤウガナカタナラバ、上ゲナ
イデ置イタナラバドウデアルカ、上ゲ
ナイデ置クトドウナルカト云フト、五

匁入ノ「ナデシコ」ハ今迄四錢、四錢ノ
八倍ハ今度値上ヲシタ四十匁入ノ三十
二錢ト匹敵スル、上ゲナイデ置イタナ
ラバ丁度社會政策ガ實行サレル、ソレ
ヲ今迄ヨリ開キヲ多クシテ、社會政策
ヲ加味シテ考ヘタト云フコトハ、何處
ヲ押サレルトサウ云フ勘定ガ出ルノ
カ、況ヤ初カラ一貫匁ノ標準ニ付テ勘
定シタノデ、サウ云フ小サイコトハ分
ラヌト云フコトデアリマス、斯様ニ申
上ゲルト五匁ナドハ賣レナイト云フ議
論ガ出ルカモ知レマセヌガ、ソレハサ
ウハ言ヘナイ、今迄ノ統計ニ依テ見マ
シテモ、是等ノモノハ非常ナ多額ニ上
ツテ居ル、二億何千萬圓ト云フ數量ガ
賣レテ居ル、ソレダカラ品物ガ賣レナ
イカラト云フノデナシニ、是ハ要スル
ニ細カイモノヲ造ルノガ面倒臭イカ
ラ、成ベク大キイモノヲ買ハスト云フ
方法ニ出タモノダト云フコトヨリ想像
ガ出來ナイ、是デモ社會政策ヲ加味シ
タト云フナラバ伺ッテ置キタイ

○元田委員長 砂田君——此際專賣局
長官今北策之助君ノ説明ヲ參考ニ御聽
取ニナルヤウニ、先刻御諮リヲシテ宜シ
カラウト云フコトデアリマスカラ……
○今北專賣局長官 只今刻煙草ノ五匁
ト四十匁包トノ價格ノ上ゲ方ニ付テ御
質問ガアツタノデアリマスガ、是ハ本會
議ノ席上ニ於テ大體大藏大臣カラ御答
辯ニナツテ居ルノデアリマスガ、値上
ゲル時ニ五匁ノ方ハ「ナデシコ」デ申セ

バ四錢デアル、ドウモソレヲ上ゲルニ
ハ四錢五厘ト云フヤウナ端ヲ附ケルト
云フコトハ商賣上出來ナイ、ソレデ五
錢ト已ムヲ得ズ致シマシタ、又「ハギ」
モ同様デアリマス、サウ云フ關係デ割
合ハ四十匁入レニ較ベテ高クナツテ居
ル、二割五分或ハ一割七分ト云フヤウ
ナ割合ニナツテ居リマス、四十匁入レノ
方ハ値頃ノ關係ノ都合ガ宜シイト云フ
ノデ、是ハ「ハギ」ナラバ一割三分、「ナ
デシコ」デハ一割四分ト云フコトニ定
價ヲ上ゲタノデアリマスガ、是ハ値頃
ノ關係上已ムヲ得ナイ譯デアリマシタ
ガ、又一面ニハ先日モ本會議デ大臣カ
ラ御説明ガアリマシタ通りニ、賣行ガ
五匁ト云フノハ甚ダ少ナイ、大部分ハ
四十匁ガ賣レテ居ルノデアリマス、ド
ウ云フ統計ヲ御取リニナツテ二億ト云
フヤウナコトニナツタカ分リマセヌガ、
私ノ方デハ從來ノ計畫、豫算等ニ付テ
ハ五匁包ガ幾ラ賣レル、四十匁ハ幾ラ
賣レルカト云フ勘定ハ致シマセヌ、面
倒ナコトニナリマスカラソレヲ廢メ
テ、突込ミデヤツテ居リマスガ、實績ト
シテハ現レテ居ルノデアリマス、專賣
局年報ノ統計ヲ御覽下サルト明瞭ニ書
テアルノデアリマスガ、ソレニ依リマ
ストソナナ數ハナイノデアリマシテ、
現ニ二十年度ノ年報ガ出來テ居ルノデ
アリマス、或ハ御覽ニナツタカ知レマセ
ヌガ、ソレニ依リマスルト、此時ニハ四
十匁、二十匁、五匁トアツタノデアリ

マス、其内デ四十匁ガドノ位賣レタカ
ト申シマスルト「ナデシコ」デ申シマス
ルト四十匁ガ百分ノ八十七賣レテ居リ
マス、數量デ申シマスルト、ソレカラ五
匁ガ百分ノ四賣レテ居ル、唯ノ四賣レ
テ居ル、二十匁ガ百分ノ九賣レテ居リ
マス、是ハ數量デアリマス、代金デ申シ
マスルト「ナデシコ」ガ四十匁ガ百分ノ
八十六、二十匁ガ百分ノ十、五匁ガ百分
ノ四賣レテ居リノデアリマス、ソレカ
ラ是ハ二十年度デアリマシテ立派ニ印
刷物ガ出來テ居リマス、ソレカラ十三
年度ハ印刷物ガ出來テ居リマセヌガ
(砂田委員「分ッテ居リマスソレハ統計
ニ出テ居ル」ト呼フ)サウ云フ關係デア
リマシテ、賣高ハ數量デ申シマシテモ
代金デ申シマシテモ、五匁ハ百分ノ七
位シカ賣レテ居ラナイ「ナデシコ」モ
「ハギ」モ四十匁ガ百分ノ九十三位賣レ
テ居ルノデアリマス、ソレデアリマス
カラ四十匁ノ方ガ値上ガ少ナケレバソ
レデ大體宜シイ、五匁ヲ買フ人モナイ
デハアリマセヌガ、僅ニ百分ノ七位デ
アリマスカラ、其位ハ先ヅ値頃ノ關係
ニ於テ已ムヲ得ストスレバ、サウ云フ
風ニ極メテ貫ハスト商賣上困ルト云フ
譯デヤツタノデアリマスガ、尙ホソナ
ラ値上ゲシナイデ置ケバ宜イデヤナイ
カ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ
是ハ値上ゲシマセヌト云フト各種煙草
ノ權衡ヲ害スル、例ヘバ「ナデシコ」ノ
五匁ヲ値上ゲシナイトナリマスと云フ

ト、四十ヌノ方モサウスルト之ニ匹敵スルヤウナ値ヲ定メナケレバナラヌ、ソレヲ同ジヤウニ五ヌノ八倍ヲ四十ヌニスル、是ハ專賣施行當時一年間施行シタノデアリマスケレドモ、其後スッカリ止メマシテ、大包ノ煙草ハ生産費ガ少ナイ、小包ノ方ハ生産費ガ非常ニ掛ルト云フ關係ハ、民間ノ商賣ニ於テモ同様デアリマスガ例ヘバ「ハンケチ」ラ一枚買ヘバ二十五錢デアルケレドモ、一打デアレバソレガ十倍位ノ値買ヘル餘計買ヘバ安ク賣ッテ呉レル、サウ云フ關係デアリマシテ、專賣法施行當時一年ノ後ニハ總テ五ヌノ方ヨリ四十ヌノ方ヲ定價ヲ安クスル、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、若シ之ヲ五ヌノ値上ゲラソレデハ止メタラドウダ、斯ウ云フコトニナリマスガ、今回ノ値上當時ニモ其事ニ付テハ研究ヲ致シタノデアリマスガ、サウスルト割安ナ五ヌニスッカリ移ッテシマフ、五ヌニ移ルノハ宜シイノデアリマスガ、「ナデシコ」ノ五ヌヲ其儘ニ置キマス「ナデシコ」ニ皆移ッテ、「ナデシコ」ガ非常ニ賣レテ他ガ賣レナイト云フ結果ヲ來シテ、煙草ノ賣行ノ權衡ニ非常ニ不同ガ出來テ參リマシテ、或ル原料ハ非常ニ餘リ、或ル原料ハ非常ニ不足スル、到底專賣事業ヲ圓滿ニ遂行スルコトガ出來ナイノデ、此值頃ノ關係ヲ相當ニ按排シナイト、專賣當局ニ於テ實行スル上ニ於テ非常ニ困難デアル、サウ云フ關

係ヲ色々見マシテ、此值頃ヲ拵ヘタノデアリマス、決シテ社會政策ヲ毀スヤウナ者ハ毛頭アリマセヌ、ノミナラズ斯ウ云フ方法ニ依レバ必ラズ社會政策ニ適合スル、何トナレバ「ナデシコ」或ハ「バギ」ナルモノハ殆ド全部ハ勞働者、下層階級デ占メテ居ルノデアリマス、四十ヌタルト五ヌタルト間ハズ殆ド全部勞働者下層階級ガ喫ムノデアリマス、「アヤメ」以上ハ中産階級ガ喫ム、斯ウ云フヤウナ大體傾向デアリマスカラ、此點ニ於テ別段社會政策ノ目的ニ副ハナイ譯デハナカラウト信ジテ居ル次第デアリマス

○砂田委員 私ハ大藏省ノ專賣局ノ御商賣ヲ聞イテ居ルノデハナイ、社會政策ニナルカナラヌカト云フコトダケ伺ッタノデアリマス、併シ餘リ細カナ問題ヲ何時マデ申シマセヌガ、唯申上ゲテ置キタイノハ、五ヌ賣ト云フモノハ四十ヌ賣ヲ買ヘナイヤウナ細民ガ喫ムモノデアアル、サウスルト金高ニ付テハ非常ナ差デアリマセウガ、併ナガラ大正十二年ノ大藏省ノ統計表ニ依レバ、賣上高二億三千九百六十萬二千個、是ダケハ事實此表ノ通りニ相違ナイ、是ダケノ數ハ賣レト云フト、是ハ殆ド此「バギ」トカ「ナデシコ」トカ云フモノハ自由勞働者ノヤウナモノガ喫ム、ソレニ二割五分ノ値上ヲシテ、一方ノ方ニ一割ノ値上ヲスルト云フコトハ、社會政策ト全然矛盾シテシマッテ居ルデ

ハナイカ、是ダケノコトヲ云フノデ、商賣ノコトガドウダト云フヤウナコトハ私ハ少シモ問題ニシテ居ラナイ、併シ是以上ハ御答ヲ得タ所ガ迎モ満足ナ御答ハ出來ヌト思ヒマスカラ、モウ一ツ進ンデ伺ッテ置キタイ、是ハ豫算ニ懸聯スル問題デアリマスガ、專賣局デハ今度此煙草ノ値上ニ依テ消費ガ非常ニ減ルヤウニ、今度豫算ヲ立テニナッテ居ル、其消費ガ減ル結果原料デアアル煙草ヲ買入レル賠償金ニ於テ約七十萬貫ノ煙草ハ買ハナイコトニナル、ソレガ爲ニ今迄ノ耕作者ト云フモノハ大打撃ヲ受ケタ譯デアリマスガ、ソレダケノ數量ヲ減ラシテ、即チ口付煙草ハ二割二分、兩切ハ五分ノ増シ、斯ウ云フ風ニナッテ之ニ伴ッテ製造スル人間ノ數ガ段々ト變化ガアル譯デアリマス、ソレデ豫算書ヲ見マスルト、職工ニ對スル給料ト云フモノハ今迄通り少シモ増減ナシト云フコトニナッテ居ル、口付煙草ノ方ハ二割二分ノ需要ガ減ッテ即チ四十億本カラノ煙草ノ製造ガ要ラナクナッテ、ソレニ對スル減ス人間ガ一割五分デア

ル、而モ口付煙草ニ比較シテ需要ガ洵ニ少ナイ、兩切煙草ニ對シテハ僅ニ五分ノ賣拂數量ノ増加ニ對シテ人間ガ四割二分増加ヲシテ居ル、サウシテ此差別勘定ハ人間ガ一人モ減ラナイト云フ豫算ヲオ作りニナッテ居ル、斯ウ云フコトハ私共ハ理窟デハ分ラナイノデ、コンナ風ニ殆ド數量ニシテ見マスレバ、七

十萬貫ノ煙草ヲ扱フ人間ガ要マナクナル勘定ガ出ルノニ、其使フ人間ハ些トモ減ッテ居ラヌ、唯此方ニアルモノヲ彼方ヘ持ッテ行キ、彼方ノモノヲ此方ニ持ッテ來ルト云フヤウナ譯デ、ドウモ吾等ニハ分ラヌノデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレカラモウ一ツハ製造煙草ノ購買ト云フコトハ、今迄外國品ヲ購買ヲシテ、サウシテ外國煙草ヲ賣ッテ居ラレルモノト吾等ハ信ジテ居タト云フノハ今迄ノ豫算ハ悉クサウ云フ風ニ數量ガ出來テ居ッタ、所ガ本年ハ外國煙草ノ紙卷煙草ト云フモノハ賣拂ヒ數量ガ一億三千六百萬本、去年ヨリハ非常ニ減ッテ居ル需要ガ減タト云フコトニナッテ居ル、所ガ製造煙草ヲ買入レルノハ四億四千八百萬本買入レルコトニナッテ居ル、是ハ内地ノ煙草ヲ外國ニ注文ヲシテ拵ヘル數量デアリマスガ、外國煙草ヲ二三年分買取ッテ置イテ置クノデアリマスガ、ド

チラデアアルカト云フコトヲ御答ヲ願ヒタイ、若シ内地ノ煙草ヲ外國ニ注文シテ製造サスト云フノデアラナラバ、更ニ此人間ヲ使フ數量ガモット減ッテ行カナケレバナラヌ、所ガ人間ヲ使フ數ハ今迄ト少シモ減ラナイ、數量ハ七十萬貫要ラナクナッテ、外國煙草ヲ餘計買込ムノ人間ノ數ガ減ラナイトナルト、此豫算ト云フモノハ全然分ラナクナルノデアリマス、之ヲ一ツ明瞭ニ御答ヲ願ヒタイ

十萬貫ノ煙草ヲ扱フ人間ガ要マナクナル勘定ガ出ルノニ、其使フ人間ハ些トモ減ッテ居ラヌ、唯此方ニアルモノヲ彼方ヘ持ッテ行キ、彼方ノモノヲ此方ニ持ッテ來ルト云フヤウナ譯デ、ドウモ吾等ニハ分ラヌノデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレカラモウ一ツハ製造煙草ノ購買ト云フコトハ、今迄外國品ヲ購買ヲシテ、サウシテ外國煙草ヲ賣ッテ居ラレルモノト吾等ハ信ジテ居タト云フノハ今迄ノ豫算ハ悉クサウ云フ風ニ數量ガ出來テ居ッタ、所ガ本年ハ外國煙草ノ紙卷煙草ト云フモノハ賣拂ヒ數量ガ一億三千六百萬本、去年ヨリハ非常ニ減ッテ居ル需要ガ減タト云フコトニナッテ居ル、所ガ製造煙草ヲ買入レルノハ四億四千八百萬本買入レルコトニナッテ居ル、是ハ内地ノ煙草ヲ外國ニ注文ヲシテ拵ヘル數量デアリマスガ、外國煙草ヲ二三年分買取ッテ置イテ置クノデアリマスガ、ド

○今北專賣局長 只今ノ値上ゲノ結果 底今日ノ專賣局ノ工場デハヤリ切レナ
賣行數量ガ減リマシタカラ、職工ノ給 イト云フノデ、其或ル部分ヲ外國ニ於
料ガ減ラナケレバナラス、是ハ減ラシ テ製造サセテ居ル、サウシテソレヲ買ッ
テアル譯デアリマスガ、何處ニ減ラナ テ居ルト云フノガアル、其代金ガ今度
イト云フコトガアルカ、一寸今書類ガ 購買費ニ含マレテ居ル譯デアリマス
氣ガ付カヌノデアリマスガ、各目明細 ○砂田委員 煙草ノ問題ハ此位デ置キ
書ヲ御覽ニナリマスト云フト、職工ノ マセウ、モウ一ツ大藏大臣ニ伺ッテ置キ
給料(砂田委員)十六萬二千圓減ッテ居 タイノデアリマスガ、今回ノ地租ノ免
ル(ト呼フ)十六萬二千圓減ッテ居リマ 税點ヲ設ケラレタト云フコトデアリマ
ス、是ハ御承知ノ通り口付ガ澤山減ル ス、要スルニ此免稅點ヲ設ケラレタ趣
ノデアリマス、減少スルノデアリマス 旨ハ、自作農ヲ保護スルト云フ精神カ
ガ、御手許ニ御上ゲシマシタ、材料ハ御 ラ出テ居ルト云フコトハ屢承ッタノデ
承知ノ如ク兩切ハ殖エル、刻煙草モ殖 アリマスガ、一體地租ノ免稅點ヲ設ケ
エル、サウ云フ殖エル關係モアル、ソレ ルト云フコトニ依テ、地主ト云フモノ
カラモウ一ツハ頻リニ近來ヤカマシク ノ生活上ノ安定ヲ與ヘル材料ニナルト
非難ヲ蒙ッテ居リマス、煙草ガ惡イデハ 云フ趣旨ニナルノデゴザイマスカ、私
ナイカ、先日モ委員長カラサウ云フ御 共ノ考ヘル所デハ、綜合シタ課稅ノ上
話ガアリマシタガ、ソレヲ非常ニ改善 ニ於テ、適當ナル生活上ノ安定ヲ與ヘ
シタイ、ソレデ來年度ニ百二十萬圓ト ルコトカラ一定ノ免稅點ヲ置クト云フ
云フ改善費ヲ要求シテアリマス、其中 コトハ、稅制ノ趣旨ニ反シナイと思フ、
ニ今迄一人デ屑煙草ヲ勿ネサシテ居ッ 併ナガラ茲ニ物稅ノ財產稅ニ於テ免稅
タ、一人デヤルカラ惡イモノニナッタ 點ヲ設ケルト云フコトヲ稅制ノ上ニ持
ガ、ソレヲ二人デスルトカ云フヤウニ 來タルト云フコトハ、非常ナル惡弊ヲ
職工ヲ増ス、サウ云フモノヲ差引クト 生ズルモノデナイカ、若シ斯ウ云フ惡
十六萬二千圓減ル、唯此減ルダケデ申 例ヲ作り上ゲテ置クナラバ、是カラ先
シマシタナラバモット多ク減ルノデア ニ物稅ニ付テ總テノ問題ニ付テ是同
リマスガ、ソレハ別ニ計算ガアリマス 様ノモノガ出テ來ハセヌカト思フノデ
ケレドモ、非常ニ細カクナリマスカラ アリマス、是ハ或ハ免稅點ト云フコト
茲ニ申スノハ略シテ置キマス、製造煙 ハ地價ニ依ル、免稅點ハ適當ナ場合ニ
草ノ購買費ガ非常ニ殖エテ居ル、是ハ 賃賃價格ニ依レバ修正スルコトガ出來
御察シノ通り兩切煙草ガ一二年來非常 ルガ、其修正ダッテモ賃賃價格ヲ基礎ト
ニ殖エテ居ル、次第々々ニ殖エテ來テ、到 シタ免稅點ニナルノデアアル、同ジ理窟

ニナルノデアリマス、生活上ニ安定ヲ 與ヘルト云フ趣旨デアラナラバ、綜合
シタモノノ上ニ免稅點ガ出來ナケレ バ、個々ノ上カラ斯様ナモノヲ作ッテ
モ、租稅ノ原理ノ上カラシテ非常ナ惡 例ヲ作ルモノデアルト云フコトヲ大藏
大臣ハ御考ニナラナイカ之ヲ伺ッテ置 キマス
○濱口國務大臣 只今ノ御質問デアリ
マスガ、綜合稅デナイ所ノ特別稅ニ對 シテ免稅點ヲ設ケルト云フコトハ、將
來ニ惡例ヲ貽スモノデハナイカ、斯ウ 云フ御疑ノヤウデアリマス、純粹ノ理
論カラ申シマスレバ綜合稅デナイ所ノ 物稅ニ向ッテ免稅點ヲ設ケルト云フコ
トハ、或ハ適當デナイカモ知レマセヌ、 私ハ適當デナイト斷言ハシマセヌガ、
サウ云フ議論ガ立チ得ルト思フ、ケレ ドモ總テ一國ノ制度ハ、必ズシモ理論ノ
命ズル所ニノミ從ッテ、政策上ノコトハ 顧ミナイト云フコトニハ參ラヌト思ヒ
マス、今日ノ狀態カラ致シマシテ、自作 農ノ創設維持ヲ獎勵スルト云フコト
ハ、社會政策上、又農村ノ振興上最モ緊 要ナル所ノ政策デアルト信ジマシタガ
故ニ、制度ノ上ニ此政策ヲ加味致シマ シテ、免稅點ヲ設ケルトニ致シタ次
第デアリマス、別ニ惡例ヲ貽スモノデ アルト云フ如キ考ハ持ッテ居リマセ
ヌ
○砂田委員 モウ二三點——營業稅ヲ
廢止セラレマシテ收益稅ヲ設ケラレ

タ、之ニ伴ウテ諸種ノ稅法ハ悉ク改正 案ガ出テ居ルノデアリマスガ、單リ都
市計畫法ニ限ッテ改正案ガ出テ居リマ セヌ、是ハ何カ特別ノ理由ガアルノデ
アリマスガ、聞ク所ニ依リマス、都市 計畫法ニ依ル營業稅ヲ基調トシタル特
別稅、之ガ澤山都ニ市計畫ノ中ニ書イテ アル、所ガ之ガ改正ヲサレナイト云フ
コトニナルト云フト、都市ニ於ケル都 市計畫ノ徵稅ハ全部出來ナクナッテシ
マフノデアアル、是ハ何カ理由ガアルノ デアルカ、動トモスルト此改正案ヲ出
スト、此中ニ勅令ヲ以テ都市ノ特別稅 トシ土地增價稅ヲ取ルコトニナッテ居ル、
所ガ貴族院ノ華族サン達ガ地所ヲ澤山 持ッテ居ルノデ此改正案ヲ出スト——之
ニ改正ヲ加ヘマスト非常ニ御困リニナ ルト云フコトデ、今度ノ改正案ニハ之ヲ
御出シニナッテ居ラヌト云フコトヲ仄 ニ承ルノデアリマスガ、何カ特別ノ事
情デ此改正案ダケハ御出シニナラスノ デアルカ、念ノ爲ニ承ッテ置キタイと思
ヒマス、ソレカラ序デアリマスカラモウ 一ツ伺ッテ置キマスガ、過日來大藏省ナ
リ内務省ナリノ方ニ、私ハ今回ノ府縣 稅ノ改正ノ結果ガ市町村、府縣ニドウ
云フ影響ヲ及ボスカ、殊ニ市稅ノ上ニ 如何ナル影響ヲ及ボスカ、町村稅ノ上
ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコト ヲ明瞭ニ致シマスル爲ニ、其表ノ提出
ヲ願ッタノデアリマスガ、是ハ大藏省ノ 方ニ於テ調べガナイト云フノデ御提出

ヲ得ルコトガ出來ナイ、出來マセヌ爲ニ已ムヲ得ズ自分デ十三年度ノ市ト町村ヲ區別シテ、此増稅ノ結果ガ如何ナル影響ヲ市町村ノ租稅ノ上ニ及ボスカト云フコトヲ、十三年度ノ豫算ニ按分シテ計算ヲ出シテ見タノデアリマス、サウ致シマス少クトモ市ニ於テハ一千萬圓以上ノ決損ニナルノデアリマス、是ハ此數字ハ表ラ差上ゲマスルガ、確ニ一千萬圓——一千四十萬圓バカリ市ニ於テ收入ヲ得ル財源ガナクナッテシマウノデアリマス、斯ウ云フコトハ大藏省ニ於テ御調査ナシ此稅金ノ改廢ガ出來ルノデゴザイマセウカ、若シ十分御調査ニナッテ居ルモノナラバ、吾等審議ノ便宜ノ爲ニ其表ヲ御提出ニナル位ノ事ハ一ツ願ヒタイト思ヒマス、是モ序ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○田中政府委員 都市計畫ト第八條ノ特別稅ニ付キマシテハ、只今內務省ニ於テ取調中デゴザイマス、唯一言茲ニ申上ゲテ置キタイコトハ、營業收益稅ハ十六年度ヨリ施行ニナリマスノデ、急イデ提出スルコトヲ必要ト思ハナカッタノデアリマス、又其財源ト致シマシテモ、之ヲ全國的ニ見マシタ場合ニ於テ、其稅率ノ關係カラ、左程重大ナル歲入ノ缺陷トモ思ハナカッタノデアリマス、加之都市計畫法第八條第二項ニ依リマス、一般歲入ニ依テ都市計畫ノ費用ノ支辨ガ出來ルコトニナッテ居リマシテ、現在都市計畫法ニ依リマシ

テ特別稅ヲ課シ得ルニ拘ラズ、ソレヲ課サズシテ、一般歲入ヲ以テ支辨ヲ致シテ居リマスルモノモ多々アリマスノデ、其關係上、一時ニ提出シナカッタ次第デアリマス、尙ホ此點ハ篤ト調ベマシテ、或ハ法案ノ提出ガ出來ルヤウニナルカモ知レヌト思ヒマス、尙ホ土地増價稅ニ付テハ、御考ノヤウナコトハ私ハナイト存ジマスガ、事ガ重大デアリマスカラ、大藏大臣ヨリ御答辯ゴザイマスコトト存ジマス、尙ホ又只今市ト町村ニ分ケマシテ、歲入缺陷ニ關スル御話ガゴザイマシタガ、私ハ其數字ヲ了解スルニ苦シムノデゴザイマス、何トナレバ只今ノ一千萬圓ト云フ歲入缺陷ハ、例ヘバ雜種稅ノ減ヲ市ト町村ニ分ケマス場合ニ於テモ、是ハ雜種稅附加稅ノ基礎額ニ依テ按分セラレタモノト思ヒマスガ、其基礎ニ於テ多少誤解ガアラレルヤウニ存ジマス、何トナレバ雜種稅ノ附加稅ノ中ニ於テ、家屋稅ト重複スルガ爲ニ、課稅スルコトガ出來ナクナリマシタリ、雜種稅ノ附加稅ノ減ハ、之ヲ市ニ合算スルト云フコトガ誤ッテ居リハセヌカト思ヒマス、其點ニ於テ約四百萬圓近クノ、或ハ缺陷——違ヒガアルノデハナイカト思ヒマスガ、尙ホ表ヲ拜見シタ上デ篤ト意見ヲ申上ゲマス、尙又市ト町村ヲ區別シナイデ稅制整理ガ出來ルカト云フ御話デアリマスガ、私ノ方ニ於テハ、市ト町村ハ區別ヲ附シマセヌデアリマシ

タガ、戶數割ヲ施行スル土地ト、從來戶數割ヲ施行セザル土地デ、家屋稅附加稅ヲ戶數割ニ代ヘ賦課セラレル地ニ就テ、相當負擔ノ増減ニ付テ調査ヲシテ居リマス、サウ云フコトナラバ、其點ハ直ニ申上ゲルコトガ出來マス、唯一昨日モチヨット御話ガゴザイマシタガ、國稅ノ本稅額ガ分チ難イ所ニ付テハ、之ヲ分割シテ申上ゲルコトガ出來ナイト云フコトニ止マッテ居ルノデアリマス

○元田委員長 大分時刻モ迫リマシタガ、此處ニ斯ウ云フコトガ開會ノ當時カラアルノデアリマス、黒田政府委員ヨリ、先日大口君ノ質問ニ對シテ藤井政府委員ノ答辯シタルノヲ少シク補足ヲシタイ、斯ウ云フ請求ガアルノデアリマス、政府ハ何時デモ發言スル權利ガアリマスガ、其補足ヲサレタ後デ、又大口君ガ起ッテ質問ヲ始メ、ラレタ日ニハ、殆ド議事進行ヲ破ラレルコトニナリマスカラ、時機ガ來ルダラウト今迄待ッテ居ッタノデアリマスガ、砂田君ガ既ニ終リ、新タニ高木君ガ御質問ニナルノハ明日ニナルノデ、此際大藏省ノ補足シタイト云フコトヲ明カニシテハ如何デスカ、諸君ニ御諮リヲ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○元田委員長 ソレデハ左様ニ御承知ヲ願ヒマス、黒田政府委員

○黒田政府委員 一昨日大口サンヨリノ御質問ニ對シテ、藤井政府委員ヨリ

御答ヘ致シタコトガ多少ハ徹底ヲ缺イデ居ッタカト云フ感ガアリマスノデ、若シ其答辯ニ依リマシテ誤解等ガアリマシタナラバ、御審議ノ上ニ非常ナ御支障ヲ來スト思ヒマスノデ、簡單ニ私カラ一應申上ゲテ見タイト思ヒマス、御尋ネノ趣旨ハ、營業收益稅ニナリマシタ曉ニ、營業收益稅中カラ、法人ガ其地ニ於テ支拂ヒシ所ノ資本利子稅ヲ控除スル場合ニ於テ、却テ收益稅額ガ無クナッテシマフト云フコトノ結果ヲ來シタ場合ニ於テハ、非常ナ不權衡ヲ來スデハナイカト云フ御質問デアッタヤウニ伺ッタノデアリマス、私ハ恰度其時此席ニ居リマセヌデシタガ、ソレニ對シテ御答申上ゲテ見タイト思ヒマス、是ニ關シマシテ、本日アタリノ新聞ニ、銀行ノ收益並ニ資本利子額等ガ出テ居リマス、收益ノ關係ガ新聞ニ現ハレテ居ルヤウデアリマスガ、ソレハ吾等ノ調べテアリマスハ多少數字ガ違ッテ居ルヤウデアリマス、併シ是ハ銀行ノ内容ニ入りマスコトデアリマスカラ、私ハ茲ニ詳シク申上ゲルコトハ避ケタイト思ヒマスガ、併シ大體ニ於テ大口サンニ於テ營業收益稅額ノ中カラ、或ル銀行ヲ押ヘマシテ、資本利子稅ヲ控除致シマス、收益稅ガ無クナルト云フ場合ガ生ズルコトハ、是ハアリ得ルノデアリマス、併ナガラ其事實ハ決シテ法人ノ負擔ノ均衡ヲ害スルモノデナク、

却テ均衡ヲ得ルモノト吾々ハ信ジテ居
リマス、之ヲ簡單ナ例ヲ取ツテ申シマス
ト、或ル銀行ガ、其營業資金ノ全部ヲ貸
付ニ運用ヲ致シテ居タト致シマス
其貸付ヨリ生ジマスル利益ニ對シテ
ハ、營業收益稅ガ課カル譯デアリマス、
所得稅ハ別ト致シマシテ、他ノ稅ダケ
ニ付テ申上ゲマスガ、營業收益稅ガ課
カルダケデアリマス、即チ三十六ト云
フモノガ課カルダケデアアルノデアリマ
スガ、若シ其營業資金ヲ全部銀行預金
トカ、社債ニ運用シテ居タト致シマス
ト、其同ジ銀行ガ上ゲテ居リマシタ利
益ニ對シテ、營業收益稅ノ外ニ、更ニ資
本利子稅ト云フモノガ加ハルノデアリ
マス、其點デ同ジ銀行ガ其資金ノ運用
ノ仕方如何ニ依テ負擔ノ非常ナ差ヲ生
ジテ來ル、即チ同ジ補完稅ヲ——一ツ
ノ補完稅ヲ負擔シ、或ル場合ニ於テハ
補完稅ヲ二ツ、即チ二重ノ補完稅ヲ負
擔スルト云フ結果ヲ來スノデアリマス
カラ、其二重ニ負擔スル所ノ關係ヲ取
リマシテ、同ジク補完稅ヲ一ツ宛負擔
サセルト云フコトニスルノガ、即チ改
正ノ要旨デアリマスカラ、或ル銀行ニ
於テ、其利益ガ大部分資本利子稅ノ課
カルベキ運用ニ依テヤラレタ場合ニ於
テハ、ソレニ對シテ既ニ資本利子稅ヲ
負擔シテ居リマスガ、其營業收益ニ對
スル營業收益ト云フモノガ、若シ其資
本利子稅ノ金額ヨリ少ナカッタ場合ハ、
其營業ノ運用ト云フモノハ、資本利子

稅ヲ負擔スルト云フコトダケデ差支ナ
イノデアリマス、ソレニ依テ丁度均衡
ヲ得ルノデアリマス、唯茲ニ御議論ガ
出ヤウト思ヒマスノハ、然ラバ資本利
子稅ノ負擔ハ百分ノ二デハナイカ、
一方營業收益稅ト率ガ違フト云フコト
デアリマスルガ、之ニ付キマシテハ大
藏大臣ヨリ本議場ニ於テモ御説明ガア
リマシタ通り、資本利子稅ハ新ナル稅
デアリマス、今回新ニ新設シタノデア
リマスカラ、現今ノ狀況等ヲ考慮シ、稍
低キ稅率ニ定メラレタト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ資本
利子稅ヲ、若シ外ノ補完稅ト同ジ率ニ
致シテ置キマシタナラバ、之ヲ課ケラ
レマシテモ、其點ニ於テモ同ジナルノ
デアリマスガ、資本利子稅ハ前申ス通
リ、率ガ違フトコトハアリマスケレドモ、
其法人ガ補完稅ヲ負擔スル關係ニ於テ
ハ、全ク同一ノ狀態ニ立ツコトニナル
ノデアリマス、決シテソレガ不權衡ノ
結果ヲ來スノデハナイノデアリマス、
唯附加ヘマシテ御質問モアッタノデア
リマスガ、地方稅ノ負擔マデモシナイ
コトニナル、益權衡ヲ害スルト云フ御
話デアッタノデアリマスガ、地方稅ニ付
キマシテハ、斯様ナ場合ニ於テハ相當
課稅ノ方法ヲ講ズルヤウニナツテ居ル
コトニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、
此點ハ內務省關係ニナリマスノデ、主
管ノ政府委員カラ申上ゲタ方ガ宜イト
思ヒマスガ、適當ニ地方稅ヲ賦課スルコ

トニナツテ居ルノデアリマス
○大口委員 私ノ一昨日ノ質問ニ對シ
テ改メテノ補足ノ御答辯デアリマシタ
ガ、私ノ質問ヲ致シマシタコトト、只今
ノ御答辯トハ全ク食違ッテハ居リマス
スガ、大部分違ッテ居ルノデス、私ハ只
今御話ノヤウナ事ハ大體ニ於テ認メテ
居ルノデアリマス、サウ云フ點ヲ特ニ
申シタ次第デハナカッタノデゴザイマ
ス、ソレハ質問ヲスル前提トシテ、階梯
トシテ私ハ申シタ積デアル、殊ニ資本
利子稅ガ百分ノ二デアッテ、營業收益稅
ハ百分ノ六デアアル、之ガ不都合デハナ
イカト云フヤウナコトハ一言モ申シタ
コトハナイ、唯私ガ記憶シテ居リマス
ノハ資本利子稅ノ方ハ、收入全部ニ課
稅スルモノデアアルガ、營業收益稅ノ
方ハ純益ニ課稅スルノデアアルカラ、ソ
コニ經費ノ相違ガアル、經費ノ相違
ガアルカラ、法人ガ營業收益稅ヲ出ス
場合ニ、一方ニ出シテ居ル所ノ資本利
子稅ヲ差引カレテ、或ル銀行ノ如キハ全
部收益稅ガ無クナル場合ガアルト云フ
コトヲ私指摘シタ、ソレハ政府モ御認
メニナツテ居ル、其代リ一方ニ於テ營
業收益稅ガナクナルガ、資本利子稅ヲ
納メフ居ルカラ、政府ニ於テハソレデ
均衡ガ取レルト言ハレルデアラウト思
ヒマスガ、其細カイ事ニナルト、私ハ別
ニ議論ヲ有ツテ居ルノデアリマス、ソレ
ハ一昨日ハ其議論迄ハ他ノ質問ガアル
カラ致サナカッタガ、ソレハソレデ宜イ

トシテ、然ラバ今申シタ通り、地方稅ノ
負擔ヲ全部免レル銀行ガアルデハナイ
カト云フノデ、私ハ例ヲ舉ゲタノデア
リマス、更ニ申シマス、神田銀行ノ如
キハ、現行法ニ依リマス、三萬三千餘圓
ノ營業稅ヲ拂ッテ居ル、所ガ今回ノ營業
收益稅ニ依ルト二萬九千餘圓ノ稅デ濟
ム、而シテ一方ニ於テ、資本利子稅ヲ三
萬圓丁度出シマスカラ、差引カレマス
ト收益稅ハ零ニナリマスガ、其代リ資
本利子稅ヲ三萬圓出シテ居ルニ相違ナ
イケレドモ、之ヲ差引イテ見ルト、現行
法ヨリハ三千圓バカリ減稅ニナリマス
ガ、減稅ニナルコトハ假ニ宜シイトシ
タ所デ——私ハ宜イト思ハス、即チ斯
ウ云フ大資本家大銀行ガ、三千圓デモ
現行法ヨリ減ルコトハ宜クナイト思フ
ガ、假ニ之ヲ認メルトシテモ、三萬三千
圓ノ本稅ニ對スル地方稅ヲ全部免除サ
レルト云フコトハ甚ダ權衡ヲ得ナイコ
トニナルデハナイカト云フ意味ノ例ヲ
舉ゲタノデアリマス、マダ舉ゲテ見マ
スレバ幾ツモアリマス、川崎貯蓄銀行
ニシテモ、或ハ安田貯蓄銀行ニシテモ、
幾ツモアリマス、數字ニ付テ多少違フ
ト言ハレルガ、私ハ考課狀ニ依テ調べ
タノデアアルカラ、違ガアルナラバ違フ
點ヲ指摘シテ戴キタイト思ッテ居ル、大
キイ違ハナイト確信致シテ居リマス、
即チ本稅ニ於テモ——國稅ニ於テモ現
行法デ取ラレルヨリモ、資本利子稅ト
收益稅デ取ラレル所ノ、改正法ニ依タ

方が大銀行ハ利益ニナルト云フコトヲ私ハ大體ニ於テ認メテ居ル、サウシテ其上ニ資本利子税ニ轉嫁サレルガ爲ニ、地方税全部ヲ免除サレルト云フコトハ酷イデハナイカト云フコトヲ申シタノデアル、所ガ意外ニモ、只今承ルト、之ニ對シテ地方税ヲ課ケル所ノ法ガアルト稱サレル、是ハ餘程面白イ事デア
ルカラ、内務當局ニ私ハ伺ヒタイ、其附加税ヲ取ラセルト云フナラ、何故ニ今回法律ニ於テ明瞭ニ收益税法ニ斯ウ云フコトヲ設ケラレルノデアリマセウカ、是ガ第一私ハ質問シテ見ナケレバナラス、收益税法ノ資本利子税ノ終ニ於テ
最後ノ第二十二條ニ於テ「府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ資本利子税ヲ課スルコトヲ得ス」ト今回ノ提案ニ御出シニナツテ居ル、内務省ハ取ルカ存ジマセヌガ、政府ハ法律ヲ以テ之ヲ禁止スルデアリマセヌカ、何レ内務當局ハ御答ニナルデアリマセウガ、ソレハ特別税ヲ設ケサストカ云フヤウナコトヲ言ハレルデアリマセウガ、特別税ト云フコトヲ言ハレヌデモ、サウ云フコトハ市制町村制ノ上ニアル、設ケヤウト思ヘバ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ得レバ設ケラレルデアリマセウ、ケレドモ是ハ設ケナクチャナラナイト云フ強制ハ出來マスマイ、其強制ヲ若シスルト云フコトニナルナラバ、今回御出シニナツタ法律ト矛盾スルノデアル、先ヅ其御答ヲ内務省カラ承リマセウ

○田中政府委員 一昨日私答辯スル機會ヲ失ヒマシテ申上ゲマセヌデアリマシタガ、本問題ニ付キマシテハ豫テ大藏省ノ方ト内務省ノ方ニ於キマシテ十分調査ヲ致シテ居ッタノデアリマス、而シテ私共ノ考ニ於キマシテハ、只今御述ガアリマシタヤウニ、市町村ニ於キマシテ、市町村制ノ規定ニ基キマシテ、市町村條例ヲ以テ特別税ヲ設定スルノ途アリト考ヘテ居ッタノデアリマス、勿論此資本利子ヲ控除スルノ結果ニ依リマシテ、地方税ノ負擔ノ少クナルト云フコトハ當然ノ結論デアリマス、而シテ其ノ法律上ノ結果ニ付キマシテハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト思ヒマスルガ、併ナガラ一昨日カ御話ガアリマシタヤウニ、之ガ爲ニ其負擔ガ細民タル營業者ノ方ニ行クト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、其地方團體ノ財政ニ影響ヲ及ボスコト大ナル場合ニ於キマシテハ、特別税ノ設定ヲ以テ之ヲ救フ途アリト信ジテ居リマスノデ、サウ云フ方法ニ出ルコトニ致シテ居ルノデアリマス

○大口委員 益分リマセヌ、是ハ餘程明瞭ニシテ置カナケレバナラス、益解ラヌ、私ハ是ハ政府ニ承リタイ、サウ申スト失禮デアアルガ、唯一ツノ事務ノ方ノ御答デハ私ハ満足セヌ、或ル場合ニハ總理大臣ニ出テ貰ヒタイ、法律デ明瞭ニ禁止シテ居ルモノヲ、特別税トシテ御許シニナルト云フコトガ——特別税ヲ設ケレバ御許シニナルト云フコト

ガ、果シテ出來得ルカドウデアアルカト云フコトガ先ヅ第一デアリマス、一方ニ於テ法律デ國家ガ禁止シテ居ルモノヲ、市町村ガ之ニ對スル附加税ヲ起シタラバ、特別税トシテ政府ハ之ヲ御許シニナリマスカ、是ガ先ヅ第一、假ニ之ヲ御許シニナルトシタ所デ、吾々ハ天下ノ總テノ者ガ均衡ガ保タレルカ、保タレナイカト云フ論デアアル、所ガ之ヲ御許シニナルトナレバ、ソレハ地方自治體ノ問題デアアル、地方自治體ハ、自分ガ税ヲ取ル必要ガナイト思ヘバ取ラナイ、特別税ノ許可ヲ求メナイ、ソレヲ國家ガ強制ラシテ、各市町村ガ特別税ヲ設ケテ取ラナケレバ、日本中ノ均衡ヲ得ナイカラ、設ケテ取レト云フ強制ガ出來マスカ、此強制ガ出來ナケレバ、之ヲ救フ途ハアリマスマイ、市町村ガ特別課税ヲ願ハナカッタドウスルカ、政府ガ法律デ附加税ヲ取ルコトヲ禁止シテ置イテ、一面ニ於テ市町村ニ特別税ヲ起サシテ取ラナケレバ權衡ヲ得ラレナイト云フノデ、政府ハ之ヲ市町村ニ強制スル、此位馬鹿氣タコトハナイト思ヒマスガ、堂々タル諸君ガ御揃ヒニナツテ居ル政府ガ、斯ウ云フ馬鹿ナ事ヲ爲サ
ルノデアリマセウカ、餘リ馬鹿ニシタヤリ方デアアル、モウ少シ筋道ノ立ッタコトデヤツテ貰ヒタイ、私ハ政府ヲ代表シ
タ方ニ來テ答辯ラシテ貰ヒタイ、ソ
ナ馬鹿ナコトガ出來テ溜ルモノデスカ、大概ノ程度デヤツテ下サラナケレ

バ少シハ私モ法律ヲ知ツテ居リマス

○田中政府委員 一寸私ノ答辯ノ言葉ヲ補足致シテ置キマス、私ノ申上ゲタ
ノハ、資本利子ノ附加税ヲ特別税トシ
テ課スルト云フ趣旨デアリマセヌ、
法人ガ受ケル資本利子ニ對シテ特別税
ヲ設定スル途ガアルト云フコトヲ申上
ゲタ次第デアリマス

○大口委員 ソレデハ、市町村ノ自由
デアリマスカラ、特別税ヲ設定シナカ
タラ、矢張法律ハ附加税ヲ課スルコト
ヲ禁ジテ居ルカラ、今申シタ如ク大銀
行ハ悉ク今度改正ニ依テ附加税ヲ免
マス、此位不均衡ナコトハアリマセヌ、
之ヲ政府ハ認メマスカ

「大藏大臣ノ答辯ヲ求ムヘシ」
ト呼フ者アリ」

○元田委員長 如何デセウ、是ハ大藏
大臣カラデモ答辯ヲ求メマスカ、總理
大臣ノ出席ヲ求メルコトニシテモ一向
差支アリマセヌガ……

○大口委員 ドウゾ只今ノ事デ政府ノ
御見解ヲ承リタイ、政府ノ方針ヲ承リ
タイ、サウ云フ事ハ出來ヌモノト信ジ
マス、或ハ今大藏大臣ガ御出デニナツ
テ居リマスカラ、政府ヲ代表シテ御答
ラツテモ宜イト思ヒマス

○元田委員長 内務大臣ノ御出席ヲ求
メタイノデアリマスガ、只今大藏大臣
ヨリ内々承リマスレバ、五時半カラ差
支ガアルノデ或ハ退出サレタカ知レヌ
ト云フコトデアリマス、只今ノ事ハ

理大臣ノ出席ヲ求メテ、其答辯ヲ御聽
キニナル必要アリト考ヘマスカラ、一
寸見サセルコトニ致シマス——ソレカ
ラ先刻大口サンカラ書面デ私ノ方ヘ御
申出ニナッテ居リマス所ノ、最後ニ政府
ニ要求シタイ表ガアルト云フコトデス
ガ、此事ニ付テ、總理大臣ガ見エルカ、
見ニヤッテ居ル間ニ御請求ニナッテハ如
何デアリマセウカ

午後五時二十一分散會

○大口委員 是ハ極メテ簡單デアリマ
スカラ、此間ニ口頭デ申シ置キマスガ、
第一種所得、第二種所得、第三種所得稅
ニ對シテ印刷物デ下サイマシタヤウ
ニ、稅目デ分ケテ、大正十四年度ノ調定
額、大正十五年度ノ新法律ニ依ル所ノ總
額ノ數字ヲ拜見シタイ、即チ千二百圓
以上ガドウデアルトカ、二千圓以上ガ
ドウデアルトカ、三千圓以下ガドウデ
アルトカ云フヤウナ細カイモノニ對シ
テ、只今申シタモノヲ拜見シタイ、モウ
一ツハ營業收益稅ノ方デ、各業體ニ分
チテ、サウシテ大正十五年度ノ法律ニ
依ル所ノ數字ガ拜見シタイ

○黑田政府委員 一寸御答ヘ致シマス
ガ、只今ノ御要求ハ出來ルダケ一ツ調
ベテ見マスガ、全部御要求ノ通り、十四
年度ノ方ニ付テハ調ハナイト思ヒマ
ス、殊ニ二種ノ所得ハ、十四年度ハ未ダ
終ッテ居リマセヌカラ勿論出來マセヌ、
其他ノモノニ付テハ、出來ルダケ調ベ
テ見マス

○大口委員 若シ調定額ガ分リマセン

ケレバ、分ケタ豫算デモ宜シイ
○元田委員長 ドウモ内務大臣ガ、今マ
デ待チマシタケレドモ、何處ニ居ラレ
ルカ分リマセヌ、就キマシテハ本日ハ
是デ散會致シマシテ、明日ハ午後一時
開會スルコトニ致シマス、是デ散會致
シマス

大正十五年二月八日印刷

大正十五年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社